

アップグレード/ コンフィグレーション・ガイド

HP Kayak XA PC ワークステーション



ご注意

本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

本書に記載した内容は、特定の目的に対する商品性や適合性を保証するものではなく、当社はそれらに関して責任を負いません。また、本書の記載の誤り、あるいは本書の配布、内容、利用にともなって生じる偶発的、結果的損害に関して責任を負いません。

当社では、当社ソフトウェアの当社によって提供された機器以外での使用およびその信頼性については責任を負いません。

本書の内容は、著作権によって保護されています。本書の一部または全部を、書面による事前の許可なくして複写、転載、翻訳することは禁止されています。

Adobe® Reader © 1987-1997 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

Adobe™ および Acrobat™ は Adobe Systems Incorporated の商標です。

CompuServe® は CompuServe Incorporated の登録商標です。

Labtec® は Labtec Enterprises, Inc. の登録商標です。

ELSA® および GLoria Synergy® は ELSA AG、Aachen and/or ELSA Inc.、Santa Clara. の登録商標です。

Matrox® は Matrox electronic Systems Ltd. の登録商標です。

MGA™ は Matrox Graphics, Inc. の商標です。

Microsoft®、MS®、MS-DOS®、Windows®、および Windows NT® は Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

Netscape™ は Netscape Communications Corporation の商標です。

Pentium™ は Intel Corporation の商標です。

SoundBlaster™ は Creative Technology Limited の商標です。

Hewlett-Packard France
Performance Desktop Computing Operation
38053 Grenoble Cedex 9
France

©1998 日本ヒューレット・パカード株式会社

©1998 Hewlett-Packard Company

アップグレード / コンフィグレーション・ガイド

本書をお読みになる方へ

本書は、次の項目について説明しています。

- PCワークステーションの諸設定を行なう方法
- PCワークステーションへのアクセサリの追加
- PCワークステーションでのトラブルシューティング

安全性についての重要事項

警告

PCワークステーション本体やディスプレイを一人で持ち上げられないようなときは、必ず誰かに手伝ってもらってください。

安全のため、電源コードは必ずアース付きのコンセントに接続してください。電源コードは、本製品に付属のものか、国内の規格に合ったアース・プラグ付きのものを使用してください。本製品を電源から遮断するには電源コードをコンセントから抜く必要があります。本製品は、コンセントにすぐ手が届くようにコンセントの近くに設置してください。

安全のため、カバーを取り外す場合は、必ずコンセントから電源コードを取り外し、通信ネットワークへの接続も切り離してください。また、PCワークステーションにカバーを取り付けてから電源スイッチを入れてください。

感電防止のため、電源装置は決して開けないでください。電源装置の内部に一般のユーザが調整できる部品はありません。

感電やレーザー光による目の損傷を避けるため、レーザー・モジュールのカバーは決して取り外さないでください。レーザー・モジュールの修理が必要な場合は、有資格のサービス担当者に依頼してください。レーザー・ユニットの調整は決して行わないでください。電源の要件や波長については、CD-ROM ドライブに添付のラベルを参照してください。HP PCワークステーションは、クラス1レーザー製品です。

人間工学についての重要事項

PC ワークステーションをご使用になる前に、人間工学についての事項をお読みになることを強くお勧めします。Windows NT 4.0をご使用の場合は、タスクバーの[スタート]メニューを開き、[プログラム]、[HP Info]の順にクリックします。続いてヘルプ・トピックの「快適な作業を行うために」をダブルクリックしてください。

ダウンロード可能なマニュアル

HP ウェブ・サイトからは本PCワークステーション用の追加マニュアルをダウンロードできます。これらのマニュアルは、すべて Adobe Acrobat (PDF) 形式で提供され、無償でご利用いただけます。

<http://www.hp.com/go/kayaksupport>

ダウンロードできるマニュアルには次のものがあります。

- アップグレード/コンフィグレーション・ガイド—本書。アクセサリのインストール方法について詳細に説明します。また、トラブルシューティングについても細かな説明があります。
- Familiarization Guide—サポートや保守担当者の方を対象としたトレーニング・ガイド(英文のみ)
- Network Administrator's Guide —PC ワークステーションをLANで接続するための設定方法について記載されています(英文のみ)。
- Service Handbook Chapters —HP 部品番号など交換部品に関する情報が記載されています(英文のみ)。

ダウンロード可能なマニュアル

ダウンロード可能なマニュアル	v
----------------------	---

1 デスクトップ PC ワークステーションへのアクセサリのインストール方法

サポートされる HP 製アクセサリ	2
カバーの取り付けと取り外し	3
カバーの取り外し	3
カバーの取り付け	4
電源装置の移動	5
メモリのインストール	7
メイン・メモリ・モジュール	7
大容量記憶装置のインストール	10
デバイスの接続	10
ハードディスク・ドライブを内部シェルフにインストールする	12
ハードディスク・ドライブのインストールを完了する	16
ドライブをフロントアクセス・シェルフにインストールする	17
ドライブのインストールを完了する	20
アクセサリ・ボードのインストール	21
ボードをインストールする	21
アクセサリ・ボードのインストール	23
ボードをインストールする	23

2 ミニタワー PC ワークステーションへのアクセサリのインストール方法

サポートされる HP 製アクセサリ	26
カバーの取り付けと取り外し	27
カバーの取り外し	27
カバーの取り付け	29
電源装置の移動	31
メモリのインストール	33
メイン・メモリ・モジュール	33
大容量記憶装置のインストール	36
デバイスの接続	36
ハードディスク・ドライブを内部シェルフにインストールする	37
ハードディスク・ドライブをフロントアクセス・シェルフに インストールする	40
ハードディスク・ドライブのインストールを完了する	43
ドライブをフロントアクセス・シェルフにインストールする	43
ドライブのインストールを完了する	47
アクセサリ・ボードのインストール	48
ボードをインストールする	48

3 HP Kayak PC ワークステーションのトラブルシューティング

HP MaxiLife を使って問題点を診断する	52
その他の機能	53
HP DiagTools	56

PCワークステーションを正常に起動できないとき	58
画面が表示されず、エラー・メッセージもない	58
Setup プログラムの値を変更できない	60
POSTエラー・メッセージが表示される	60
PCワークステーションの電源を切れないとき	62
ハードウェアに問題があるとき	63
ディスプレイが動作しない	63
キーボードが動作しない	64
マウスが動作しない	65
フロッピーディスク・ドライブが動作しない	65
ハードディスク・ドライブが動作しない	66
CD-ROMドライブに問題があるとき	67
CD-ROMドライブが動作しない	67
CD-ROMで音を再生できない	67
CD-ROMドライブがアイドル	67
CD-ROMドライブのドアが開かない	68
アクセサリ・ボードが動作しない	69
ソフトウェアに問題があるとき	70
ハードウェア・パスワードを忘れたとき	70
Setup プログラムを起動できないとき	71
日付や時刻が正しくないとき	71
ネットワークに問題があるとき	71
HP 拡張キーボードの使用	73
HP 拡張マウスの使用	76

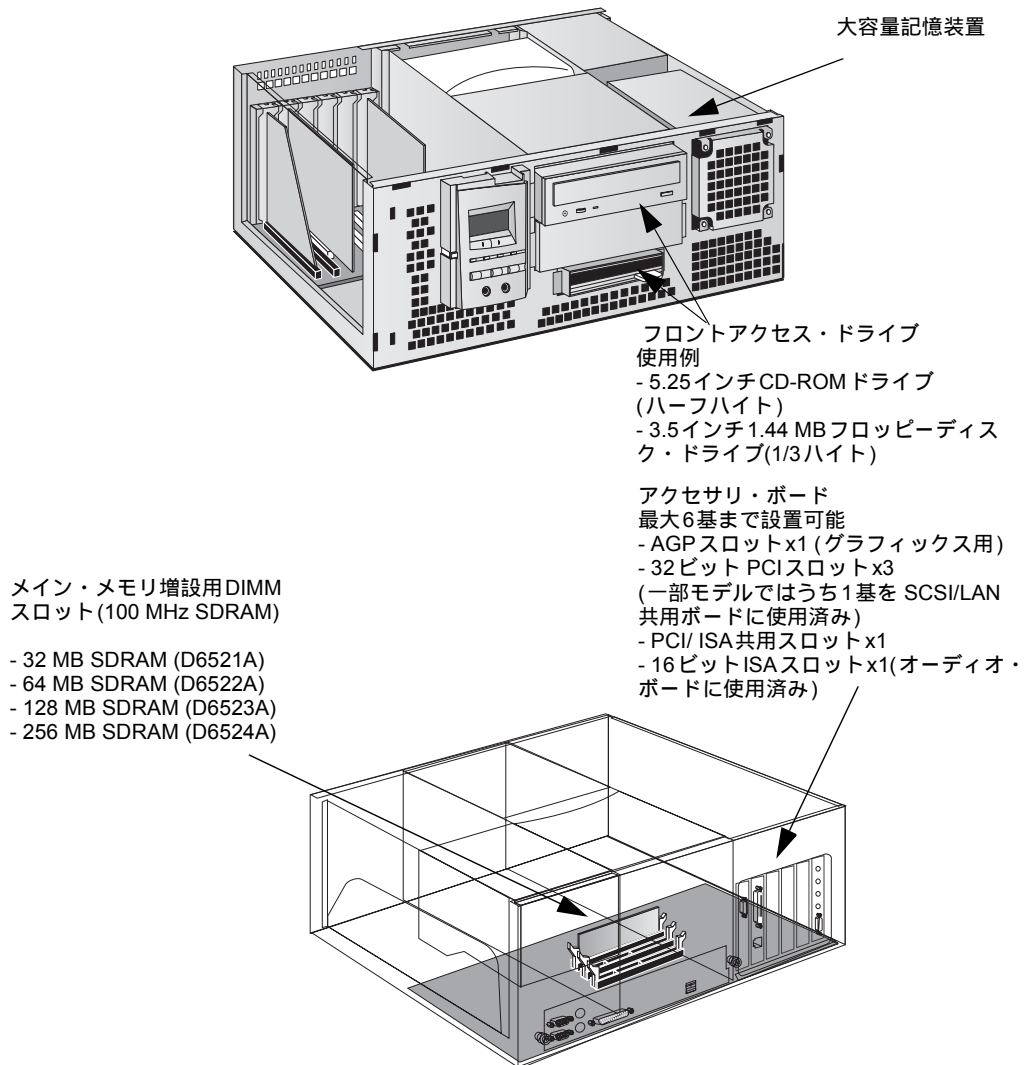
4 技術情報

仕様	78
システムの仕様	81
消費電力情報	81
アクセサリ・スロットに対する最大負荷	81
本PCワークステーションが使用するIRQ、DMA、I/Oアドレス	82
システム・コネクタとスイッチ	84
システム・ボード・コネクタ	84
システム・ボード・スイッチ	85
HPサマリ画面とSetupプログラム	88
HPサマリ画面の表示	88
HP Setupプログラムの起動	88
ネットワーク接続の設定	89
ネットワーク・セキュリティ機能の制御	89
ブート・デバイス・プライオリティの選択	90
物理的仕様	93

デスクトップPC ワークステーションへの アクセサリのインストール方法

本章では、増設メモリ、アクセサリ・ボード、増設ディスク・ドライブなどのアクセサリをデスクトップ型 PC ワークステーションにインストールする方法について説明します。

サポートされるHP製アクセサリ



サポートされるデバイスの最新リストについては、販売代理店に問い合わせく
ださい。

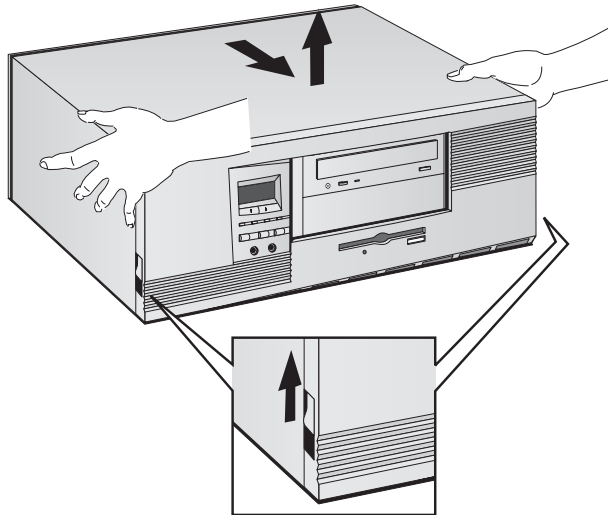
カバーの取り付けと取り外し

警告

安全のため、PCワークステーションのカバーを取り外す場合は、必ず電源コンセントから電源コードを外し、また通信ネットワークへの接続を外してから取り外してください。また再び電源スイッチを入れる場合は、必ずPCワークステーションにカバーを取り付けてから行ってください。

カバーの取り外し

- 1 ディスプレイとコンピュータ本体の電源をオフにします。
- 2 電源コードと通信ケーブル等をすべて取り外します。
- 3 必要に応じて、リア・パネルに添付されたキーを使用してカバーのロックを解除します。フロッピーディスク・ドライブにフロッピーディスクが入っている場合は、取り出しておいてください。
- 4 コンピュータ側面の2つのラッチを上げます。



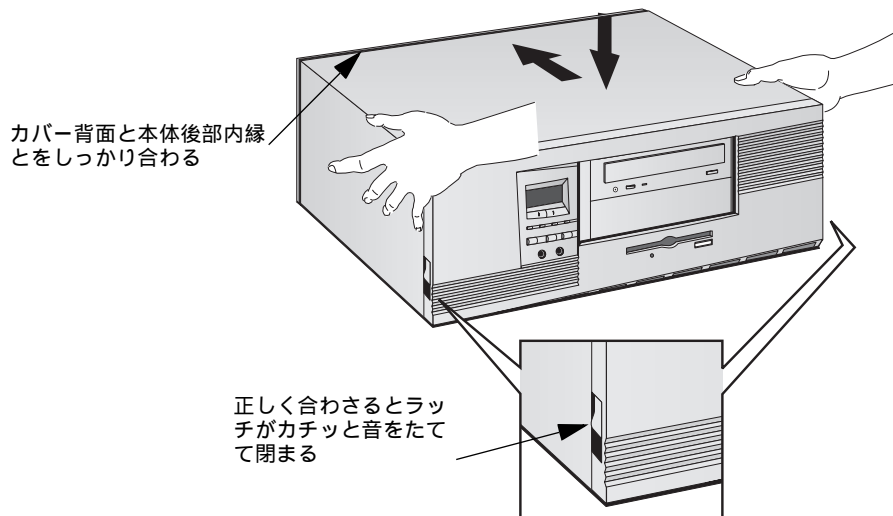
- 5 カバーの両脇をつかみ、手前にスライドさせて取り外します。

1 デスクトップ PC ワークステーションへのアクセサリのインストール方法

カバーの取り付けと取り外し

カバーの取り付け

- 1 すべてのアクセサリのインストールが完了しているか、また、本体内部のコード類がすべて正しく接続され、安全な位置にあるか確認します。
- 2 カバー背面と本体後部内縁とをしっかりと合わせて、コンピュータ本体にカバーをかぶせます。最終位置まで確実にスライドさせます。正しく合わさると、本体側面のラッチがカチッと音をたてて閉まります。

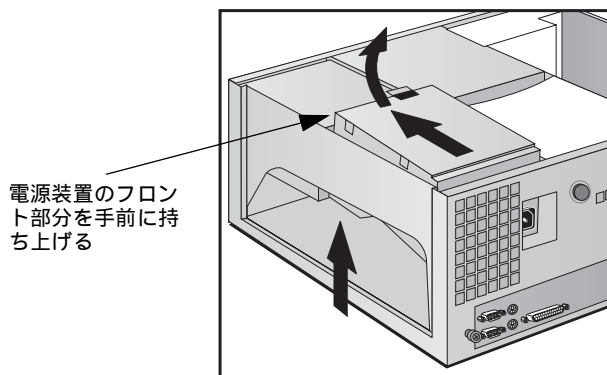


- 3 必要に応じて、付属のキーを使用してカバーをロックします。
- 4 電源コードをすべて接続します。

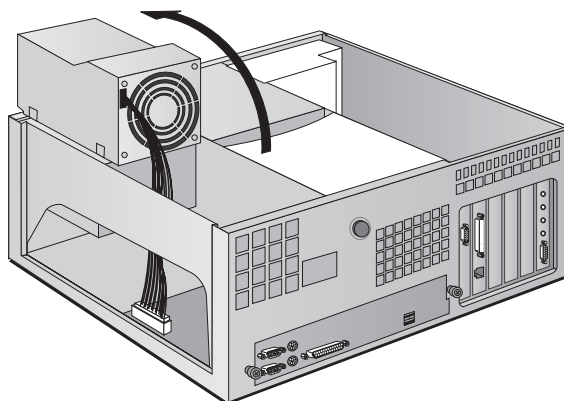
電源装置の移動

システム・ボードやディスク・ドライブ背面のケーブルの作業を行う際は、電源装置をコンピュータ本体から引き出すと作業がしやすくなります。

- 1 コンピュータ本体から電源コードと通信ケーブル等を取り外します。
- 2 コンピュータのカバーを取り外します（3ページを参照）。
- 3 電源装置のフロント部分を持ち上げ、手前に引き出して背面のヒンジを外します。



- 4 電源装置を裏返してドライブ・ユニットの上に置きます。



警告

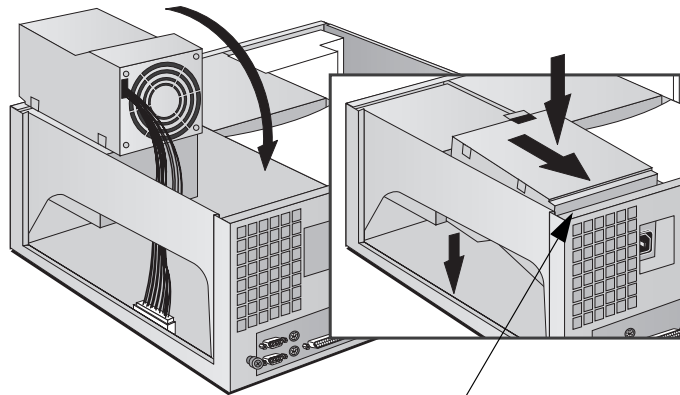
感電の恐れがあるので、電源装置は開けないでください。電源装置の内部には一般のユーザが調整できる部品はありません。

1 デスクトップ PC ワークステーションへのアクセサリのインストール方法

電源装置の移動

アクセサリをインストールした後で電源装置を元の位置に戻す

- 1 本体内部のケーブル類がすべて正しく接続され、また安全な位置にあるか確認します。
- 2 電源装置の後部を引き上げ裏返して、電源装置を本体にきちんと掛けます。電源ケーブルが挟まらないようにご注意ください。



電源装置の後部を引き上げ
回転させて、筐体に掛ける

- 3 電源装置のフロント部分をコンピュータ内にゆっくりと下ろします。正しく入ると、カチッと音がします。

メモリのインストール

メイン・メモリ・モジュール

アプリケーション・ソフトウェアに合わせてメイン・メモリを増設する必要がある場合は、3つの100 MHz DIMMスロットに合計で最大768 MBまで増設できます。

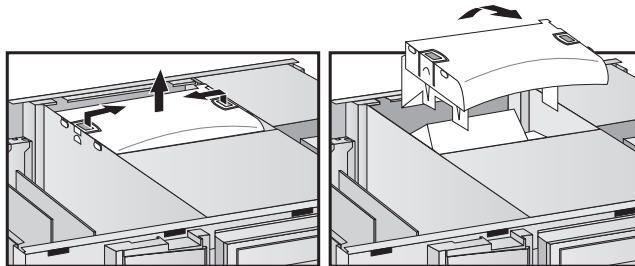
増設用メモリには、シングルで32 MB、64 MB、128 MBまたは256 MBのSDRAM(ノンバッファ)メモリ・モジュールを使用できます。

注意

電子部品は、静電気によって破壊されることがあります。メモリをインストールするときは、すべての機器の電源を切り、衣服がアクセサリに触れないようにしてください。また、静電気の発生を防止するため、アクセサリを袋から取り出すときは、袋を電源装置の上に置いてください。アクセサリの取り扱いには細心の注意を払い、必要な箇所以外には触れないでください。

メイン・メモリ・モジュールは次の手順でインストールします。

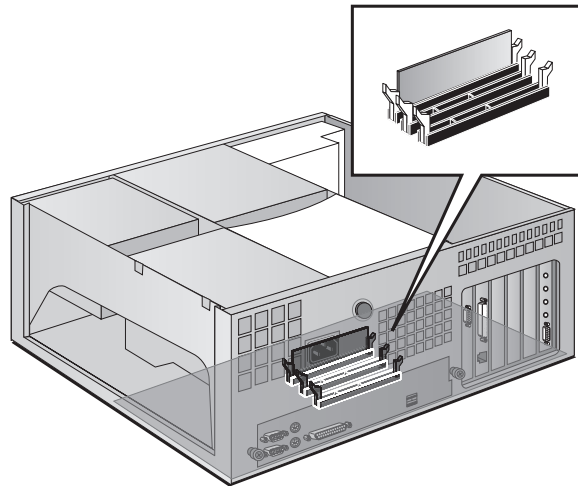
- 1 コンピュータ本体の電源コードと通信ケーブル等を取り外します。
- 2 コンピュータのカバーを取り外します(3ページを参照)。
- 3 HP UltraFlowエアフロー・ガイドの両側の留めボタンを押して、PCワークステーションの本体から取り外します。



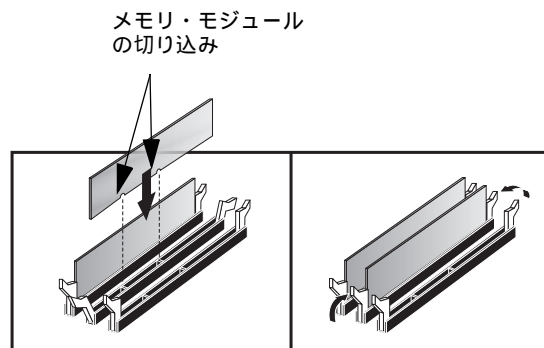
HP UltraFlow エアフロー・ガイドを持ち上げて、本体から取り外す。

1 デスクトップ PC ワークステーションへのアクセサリのインストール方法
メモリのインストール

- 4 ファンを取り外し、電源装置の上に置きます。
メモリ・モジュール用スロットの位置は次の図のとおりです。



- 5 システム・ボードに対して垂直になるように、メモリ・モジュールをスロットに挿入します(モジュールの切り込みがプロセッサの反対側になるようにメモリ・モジュールを持ちます)。



システム・ボードに対して垂直にメモリ・モジュールをスロットに挿入する

取り付けクリップがカチッと音をたてるまで、モジュールをコネクタに押し込む

- 6 取り付けクリップがカチッと音をたてて所定の位置に収まるまで、モジュールを確実にコネクタに押し込みます。

- 7 この手順を繰り返して、必要な増設メモリ・モジュールをインストールします。
- 8 メモリ・モジュール以外にもインストールするアクセサリがあれば必要に応じてインストールします。すべてのユニットを元に戻し、取り外したケーブルや電源コードを接続します。カバーを取り付けます（4ページを参照）。
- 9 HP サマリ画面をチェックして、新しい構成が正しく設定されているか調べます（88ページ「HPサマリ画面とSetupプログラム」を参照）。

他社製のビデオ・
アダプタ・アクセサリ

ビデオ MPEG モジュールなどのアクセサリもビデオ・アダプタとしてご使用になれます。ただし、これらのアクセサリはHPでは注文の取り扱いをしていません。アクセサリの詳細については、販売店にお問い合わせください。

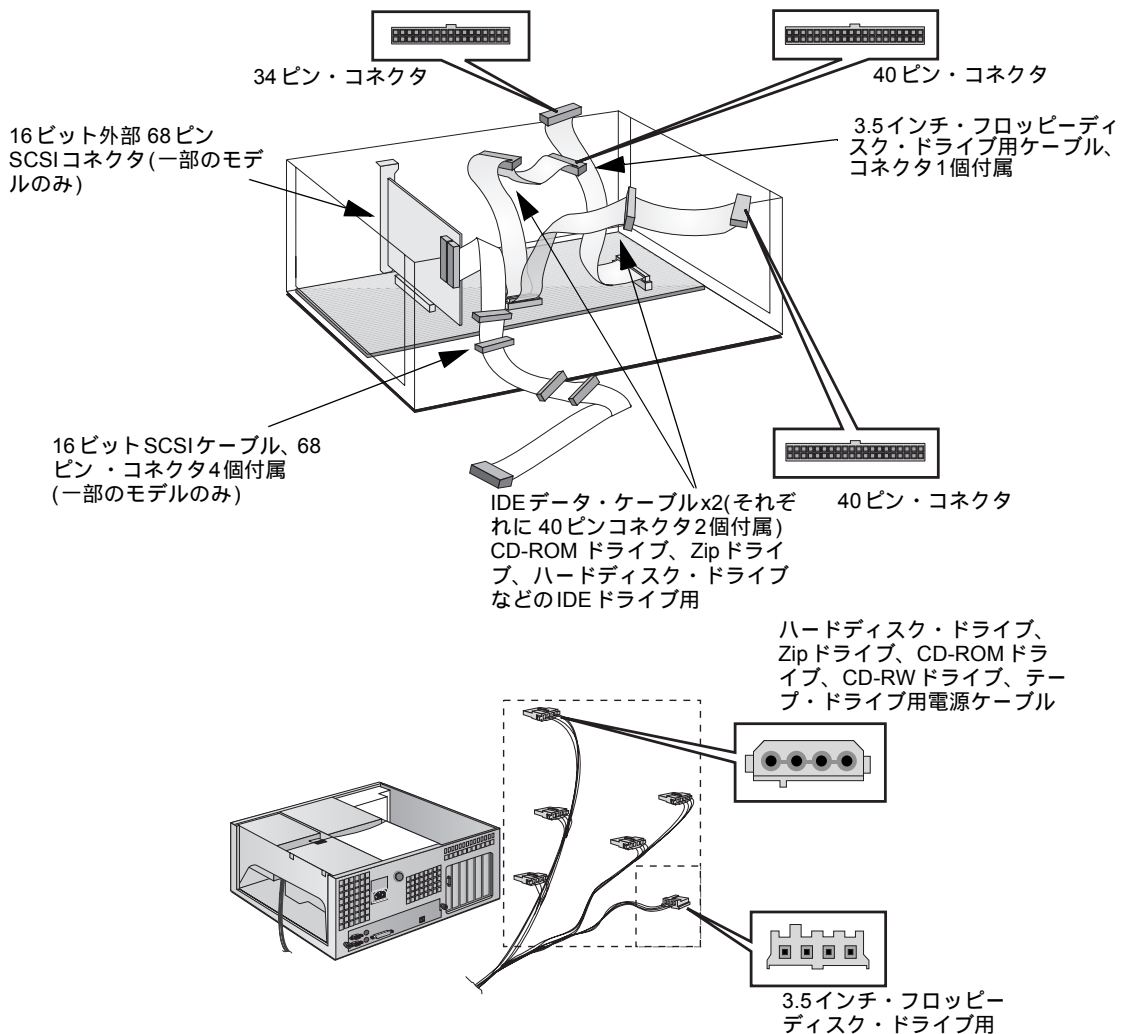
注記

ビデオ MPEG モジュールは、本PCに Matrox Millennium G200 グラフィックス・アクセラレータが搭載されている場合のみ使用できます。

大容量記憶装置のインストール

デバイスの接続

IDE Zipドライブ、ハードディスク・ドライブ、CD-ROMドライブ、CD-RWドライブ、テープ・ドライブなどを増設する場合は、それらのドライブを電源ケーブルやデータ・ケーブルに接続しなければなりません。データ・ケーブルおよびコネクタの種類と形状を下図に示します。



IDEハードディスクをインストールする前に	ドライブのインストール・ガイドを参照し、ジャンパの設定が必要か、特殊なインストール手順がないか確認してください。
SCSIハードディスクをインストールする前に	SCSIドライブを増設する場合は、新しいドライブに未使用のSCSI IDを割り当てる必要があります。SCSI IDは、Ultra Wide 16ビットSCSIの場合、0～15の範囲の番号です。SCSI ID 0は1台目のSCSIハードディスク・ドライブが使用し、SCSI ID 7は内蔵のSCSIコントローラ用に予約されています (Narrow/Wide SCSI デバイスに対するデフォルト設定)。
注記	<p>Plug and Play対応のSCAMプロトコルをサポートするSCSIハードディスクに対しては、SCSI IDを選択する必要はありません。</p> <p>増設したSCSIハードディスク・ドライブには、未使用のSCSI IDを割り当てなければなりません (例えば、SCSI ID 1)。</p> <p>SCSI IDは、通常はSCSIハードディスク・ドライブ上のジャンパで設定します。SCSI IDを選択する方法については、ドライブに付属しているインストール・ガイドを参照してください。</p> <p>SCSI ディスク・ドライブによっては、コンピュータにインストールする前に、終端抵抗を取り外すか、無効にしなければならないものがあります。ドライブに固有のインストール手順などの詳細については、ドライブに付属のインストール・ガイドを参照してください。</p>

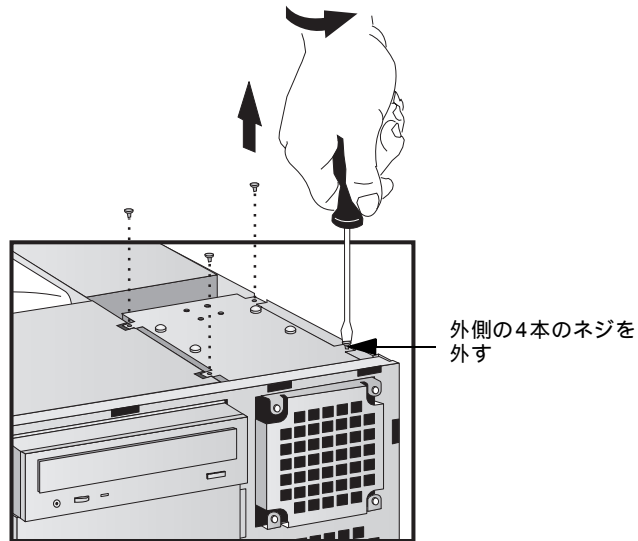
1 デスクトップPCワークステーションへのアクセサリのインストール方法 大容量記憶装置のインストール

注記

ハードディスク・ドライブを内部シェルフにインストールする

内部シェルフには、高さ1.6インチまでのハードディスク・ドライブと高さ1インチまでのハードディスク・ドライブをそれぞれ1基収納できます。

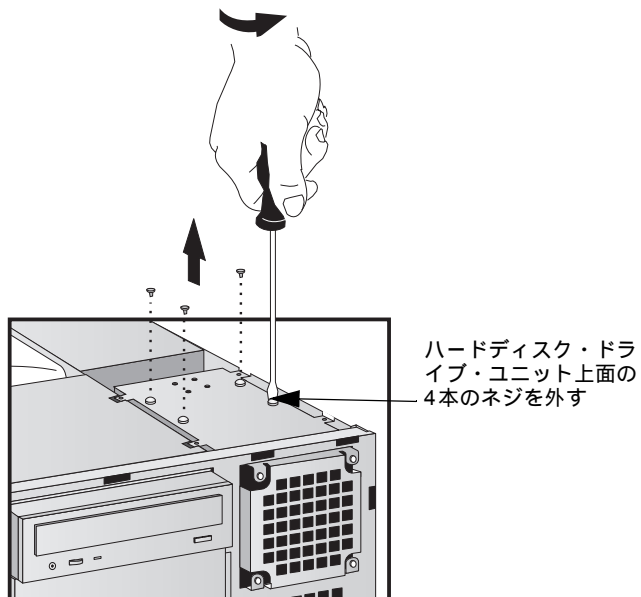
- 1 コンピュータ本体から電源コードと通信ケーブル等を取り外します。
- 2 コンピュータのカバーを取り外します(3ページを参照)。
- 3 ハードディスク・ドライブ・ユニット上面の4本のネジ(外側)を外します。



- 4 PC ワークステーション本体からハードディスク・ドライブ・ユニットを少し持ち上げ、ハードディスク・ドライブからデータ・ケーブルと電源ケーブルを取り外します。
- 5 PC ワークステーション本体からハードディスク・ドライブ・ユニットを取り外します。
- 6 平らな面にハードディスク・ドライブをゆっくりと下ろします。

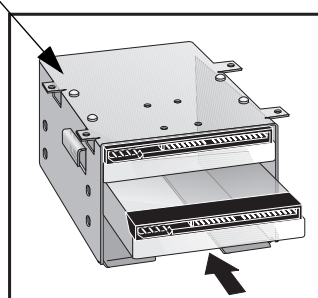
ハードディスク・ドライブの取り扱いには十分に注意してください。ハードディスク・ドライブは必ず、帯電防止処理を施したバッグの上に置いてください。

- 7 既存のドライブが設置されたシェルフに新しいハードディスク・ドライブをインストールする場合は、ハードディスク・ドライブ・ユニット上面の4本のネジを外して、既存のハードディスク・ドライブを取り外します。



- 8 ハードディスク・ドライブをシェルフに差し込みます。データ・コネクタと電源ケーブルが正しい方向を向いていることを確認してください。

ハードディスク・ドライブ・ユニット



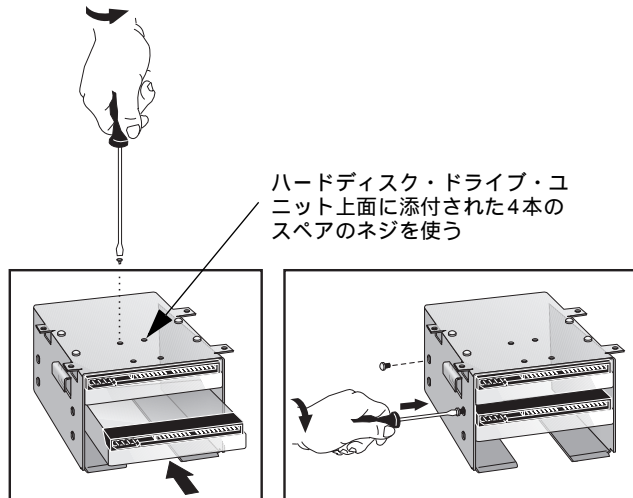
データ・コネクタと電源コネクタの向きが正しいかどうか確認する

1 デスクトップPC ワークステーションへのアクセサリのインストール方法

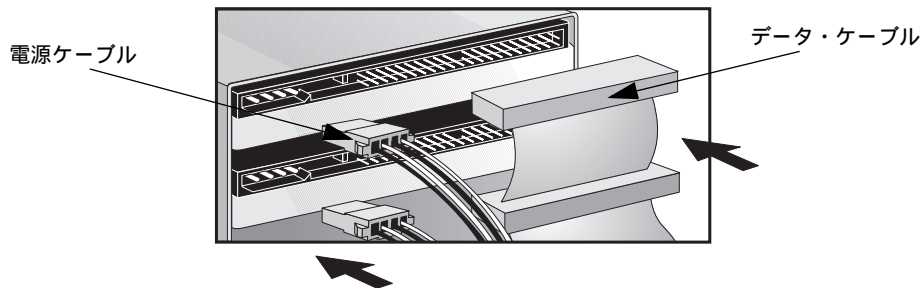
大容量記憶装置のインストール

- 9 ハードディスク・ドライブを上段のシェルフにインストールした場合は、ハードディスク・ドライブ・ユニット上面の4本のネジを締めます。

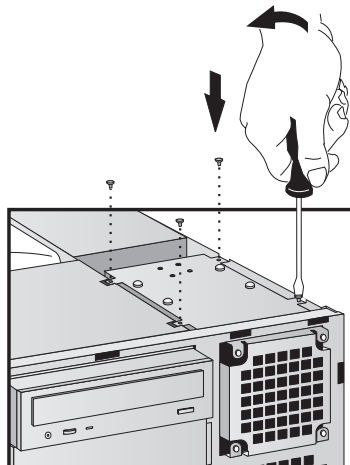
ハードディスク・ドライブを下段のシェルフにインストールした場合は、ドライブ・ユニット上面中央に添付されたスペアのネジ4本を使って、ハードディスク・ドライブの側面を固定します。



- 10 ドライブ背面に電源ケーブルとデータ・ケーブルを接続します(コネクタは、一方向にしか差し込めない形になっています)。



- 11 PCワークステーション本体にハードディスク・ドライブ・ユニットを戻し、外側の4本のネジを締めます。



- 12 必要に応じて、その他のアクセサリをすべてインストールします。
- 13 16ページを参照して、インストールを完了します。

ハードディスク・ドライブのインストールを完了する

SCSIハードディスク・
ドライブを新しくイン
ストールした場合

- 1 コンピュータ本体の電源を入れます。
- 2 PCの起動中に **Press F6 to start Configuration Utility...** というメッセージが表示されたら、**F6** キーを押して、SCSI コンフィグレーション・ユーティリティを起動します。
- 3 新しく増設した SCSI ハードディスク・ドライブの構成の確認または変更を行います。

SCSIハードディスク・ドライブの構成の詳細については、次のHPウェブ・サイトから『SCSI Administrator's Guide』をダウンロードしてお読みください。

<http://www.hp.com/go/kayaksupport>

- 4 構成が終了したら、変更を保存します。SCSI コンフィグレーション・ユーティリティを終了し、コンピュータを再起動します。

IDEドライブをインス
トールした場合

- 1 コンピュータ本体の電源を入れます。
- 2 POSTでシステム内のデバイスを確認するため、PCワークステーションの再起動中に **Esc** キーを押します。
- 3 エラー・メッセージが表示されたら、Error Messageユーティリティの指示に従います。
- 4 ハードディスク・ドライブの設定を確認するには、プロンプトが表示された時点で、**F2** キーを押して Setup プログラムを実行します。**Advanced** メニューを選択し、次に **IDE Devices** サブメニューを選択します。**Primary Master** 項目を表示し、デバイスの詳細が Setup プログラムで正しく認識されていることを確認します。
- 5 **F3** キーを押し、設定を保存して Setup プログラムを終了します。

ドライブをフォーマットする手順については、オペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。

注記

IDE ドライブを取り外した場合は、コンピュータの電源を入れると、システム BIOS により、該当するデバイスが見つからないことが認識されます。**F4** キーを押して、デバイスを削除することを認めるとシステム構成が自動的に更新されます。

ドライブをフロントアクセス・シェルフにインストールする

次にドライブ(フロッピーディスク・ドライブ、CD-ROMドライブ、CD-RWドライブ、テープ・ドライブなど)をフロントアクセス・シェルフにインストールする方法について説明します。インストールの詳細については、ドライブに付属のマニュアルも合わせてご覧ください。

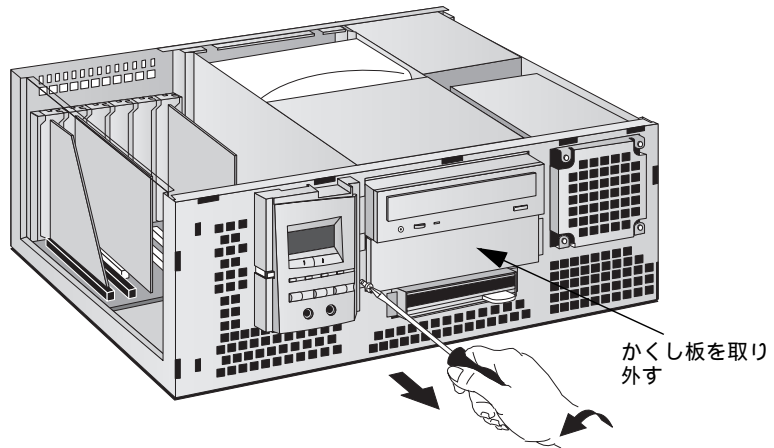
IDEデバイスをインストールする前に

ドライブのインストール・ガイドを参照して、ジャンパを設定する必要はないか、特別なインストール手順はないか確認します。

SCSIデバイスをインストールする前に

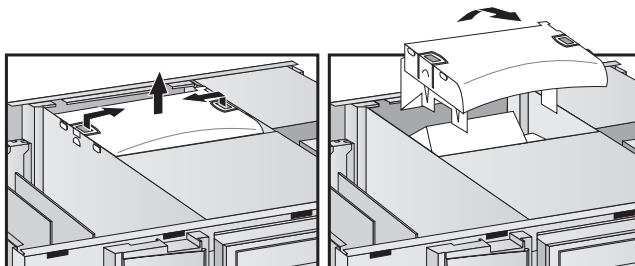
SCSIデバイスをインストールする場合は、11 ページの「SCSI ハードディスクをインストールする前に」を参照してから、以下の作業を始めてください。

- 1 コンピュータ本体から電源コードと通信ケーブル等を取り外します。
- 2 コンピュータのカバーを取り外します(3 ページを参照)。
- 3 PCワークステーションの正面から金属製のかくし板を取り外します。



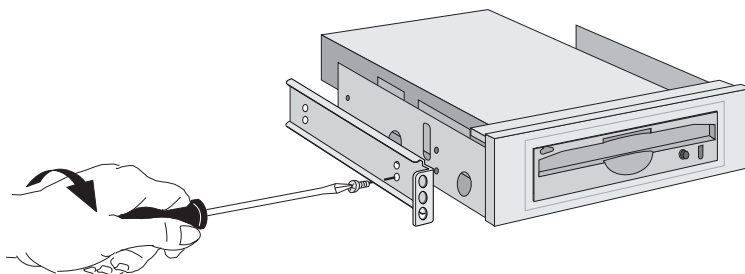
1 デスクトップ PC ワークステーションへのアクセサリのインストール方法
大容量記憶装置のインストール

- 4 両側の押さえボタンを押して、HP UltraFlow エアフロー・ガイドをコンピュータ本体から取り外します。

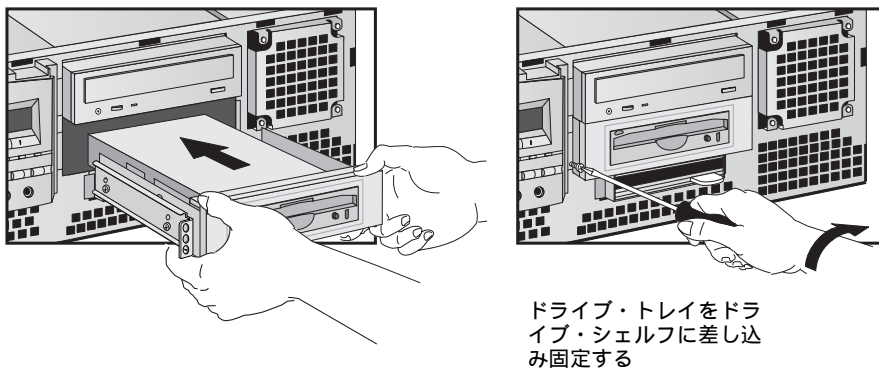


HP UltraFlow エアフロー・
ガイドを持ち上げ、手前に
引き出す

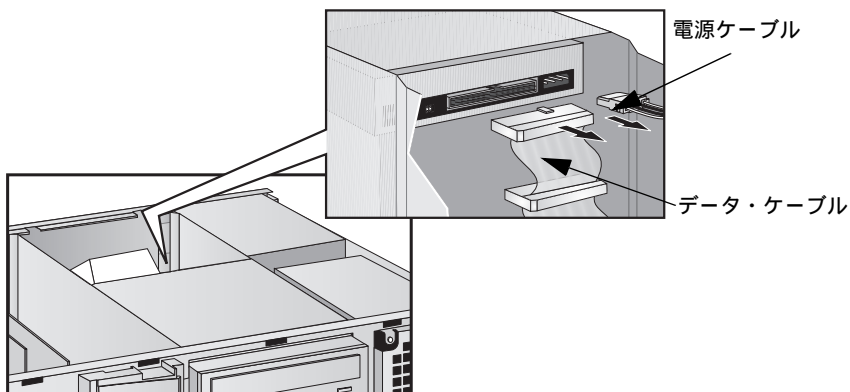
- 5 必要に応じて、PC ワークステーションに付属のドライブ用レールをドライブに取り付けます。



6 ドライブをドライブ・シェルフに差し込み、固定します。



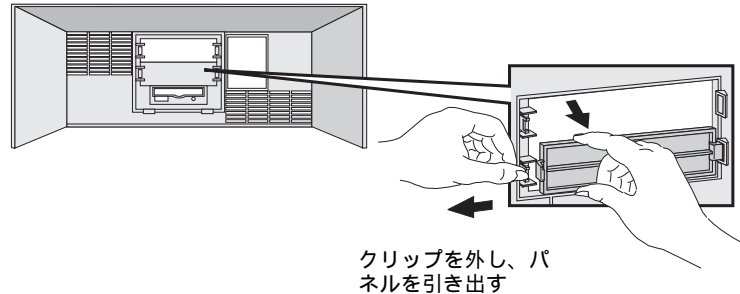
- 7 ドライブに使用するデータ・ケーブルの位置を確認します (10 ページを参照)。
- 8 デバイス背面にデータ・ケーブルと電源ケーブルを接続します (コネクタは、一方向にしか差し込めない形になっています)。



9 HP UltraFlow エアフロー・ガイドを取り付けます。

1 デスクトップ PC ワークステーションへのアクセサリのインストール方法 大容量記憶装置のインストール

- 10 プラスチックのパネルをカバーから取り外します。パネルの左側を手前に引き、右側のヒンジから外します。パネルは大切に保管しておいてください。



- 11 その他の必要なアクセサリをすべてインストールしたことを確認したら、カバーを取り付けます。
- 12 次の手順にしたがって、インストールを完了します。

ドライブのインストールを完了する

IDE CD-ROM ドライブ
をインストールした場合

- 1 コンピュータ本体の電源を入れ、**F2 Setup**と表示されたら **F2** キーを押します。
- 2 Setup プログラムで **Advanced** メニューを選択し、次に **IDE Devices** サブメニューを選択します。IDE チャンネルで CD-ROM ドライブが検出されているか確認します。
- 3 **F3** キーを押し、設定を保存して Setup プログラムを終了します。

アクセサリ・ボードのインストール

注意

電子部品は、静電気によって破壊されることがあります。メモリをインストールするときは、すべての機器の電源を切り、衣服がアクセサリに触れないようにしてください。また、静電気の発生を防止するため、アクセサリを袋から取り出すときは、袋を電源装置の上に置いてください。アクセサリの取り扱いには細心の注意を払い、必要な箇所以外には触れないでください。

本PCワークステーションには、左側から右側に向かって、以下のアクセサリ・ボード用スロットがあります。

- AT 2スロット:フルサイズ16ビット ISA ボード用
- AT 1/PCI 4スロット:16ビット ISA ボードまたはフルサイズ32ビット PCI ボード用
- PCI 3スロット:フルサイズ32ビット PCI ボード用
- PCI 2スロット:フルサイズ32ビット PCIボード用
- PCI 1スロット:フルサイズ32ビット PCI ボード用
- AGPスロット:ビデオ・アダプタ・ボード用

ボードをインストールする

注記

PCIボードの設定は、PCワークステーションにインストールされた時点で自動的に行われます。

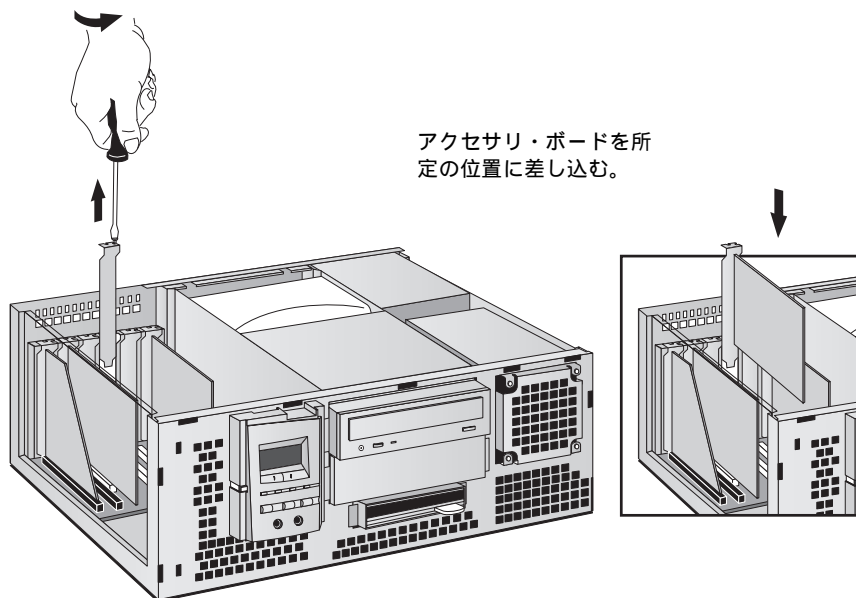
- 1 コンピュータ本体の電源コードを取り外します。LANケーブル、または通信ケーブルが接続されている場合は、それらも取り外します。
- 2 コンピュータのカバーを取り外します (3ページを参照)。
- 3 空きスロットを探します。84ページの「システム・ボード・コネクタ」を参考にして、使用するスロット・タイプ (ISAまたはPCI) の位置を確認します。

ボードによっては、インストール先のスロットが指定されているものがあります。詳細は、各ボードのマニュアルを参照してください。

1 デスクトップ PC ワークステーションへのアクセサリのインストール方法

アクセサリ・ボードのインストール

- 4 ネジを外し、スロット・カバーを取り外します。取り外したスロット・カバーは、大切に保管してください。スロット・カバーが取り外しにくい場合は、隣接するスロットのネジをゆるめてください。
- 5 ボードの先端を持って、スロットのボード・ガイドに沿って押し込みます。このとき、ボードを曲げないようにしてください。



- 6 ボードのコネクタをスロットのソケットに合わせ、ボードをソケットに押し込みます。ボードのコネクタがソケットに確実に挿入され、またボードが他のボードの部品に接触していないことを確認します。
- 7 スロット・カバーのネジを取り付け、ボードを固定します。隣接するスロットのネジをゆるめていた場合は、それらも締め直します。
- 8 その他の必要なアクセサリをすべてインストールしたことを確認したら、カバーを取り付けます（4ページを参照）。
- 9 ケーブルや電源コードをすべて接続します。

ISAアクセサリ・ボードのインストールを完了する

Plug and Play非対応のISAアクセサリ・ボードをインストールした場合、Setupプログラムを実行し、そのアクセサリ・ボードのIRQを予約してください。これにより、PCIデバイスの自動設定が可能になります。

- 1 PCワークステーション本体の電源を入れ、**F2 Setup**と表示されたら**F2**キーを押します。
- 2 Setupプログラムで、**Advanced**メニューを選択し、次に**ISA Resource Exclusion**サブメニューを選択します。IRQとIRQを使用中のデバイスの一覧が表示されます。変更したいIRQフィールド（例えば、**IRQ 11**）をハイライト表示します。
- 3 スペース・バー、または**F7**キーか**F8**キーを押し、PCIに対してIRQを使用可能にする（**Available**）か使用不能（**Reserved**）にします。
- 4 **F3**キーを押し、変更を保存してSetupプログラムを終了します。

注記

内蔵のPCIデバイスが使用できるように、少なくとも1つのIRQを常時使用可能にしておかなければなりません。

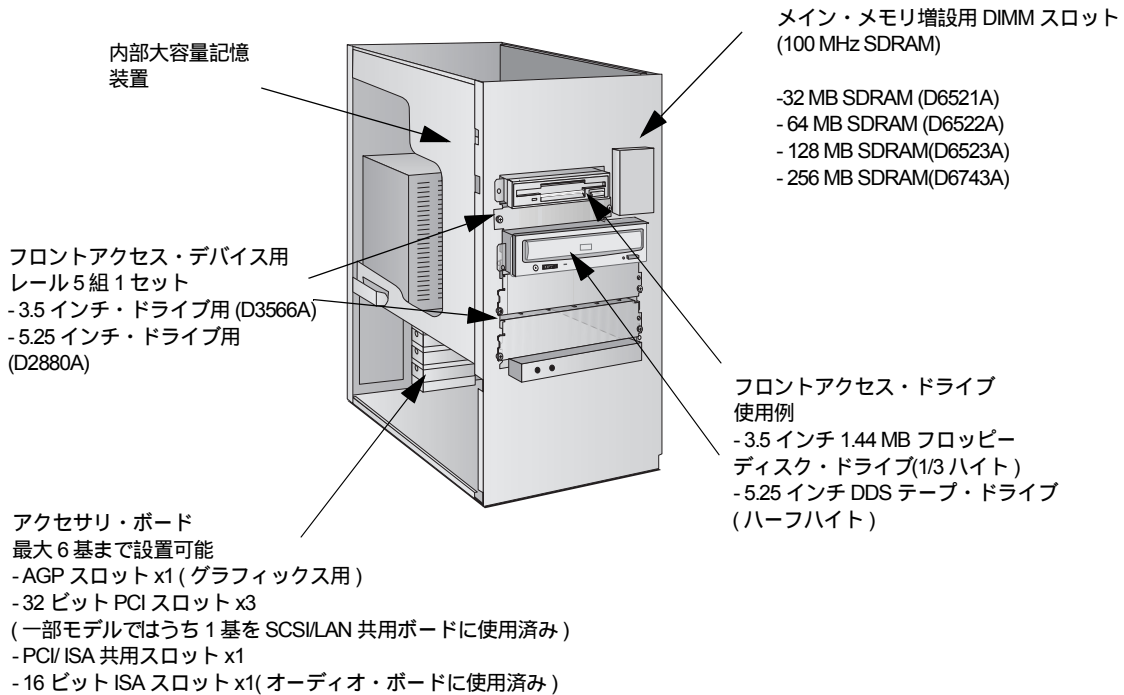
1 デスクトップ PC ワークステーションへのアクセサリのインストール方法

アクセサリ・ボードのインストール

ミニタワー PC ワークステーションへのアクセサリのインストール方法

本章では、増設メモリ、アクセサリ・ボード、増設ディスク・ドライブなどアクセサリをミニタワー型 PC ワークステーションにインストールする方法について、詳細に説明します。

サポートされる HP 製アクセサリ



サポートされるデバイスの最新リストについては、販売代理店に問い合わせください。

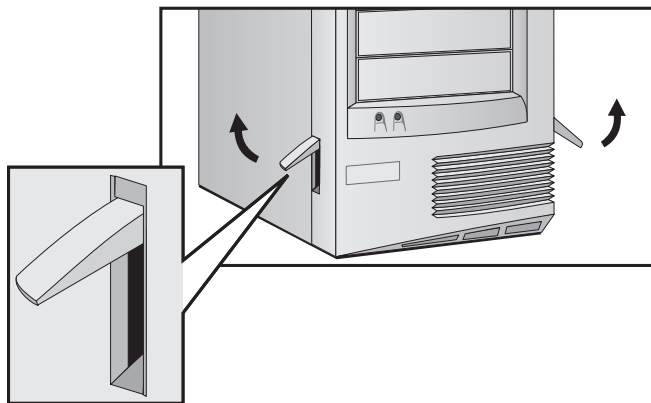
カバーの取り付けと取り外し

警告

安全のため、PCワークステーションのカバーを取り外す場合は、必ず電源コンセントから電源コードを外し、また通信ネットワークへの接続を外してから取り外してください。また再び電源スイッチを入れる場合は、必ず PC ワークステーションにカバーを取り付けてから行ってください。

カバーの取り外し

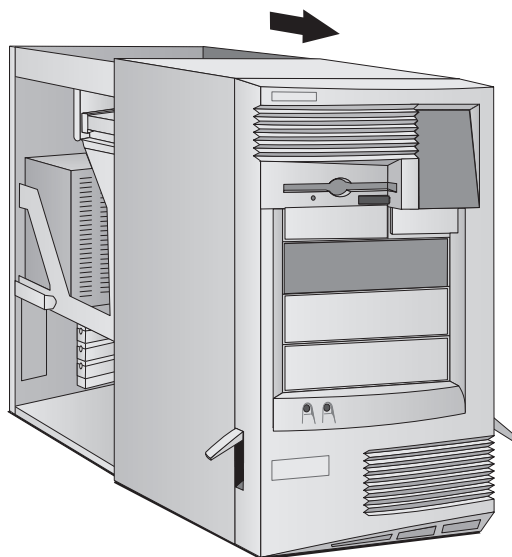
- 1 ディスプレイとコンピュータ本体の電源をオフにします。
- 2 電源コードと LAN または通信ケーブル等をすべて取り外します。
- 3 必要に応じて、リアパネルに添付されたキーを使用してカバーのロックを解除します。
- 4 コンピュータ前面横の2つのラッチを上げます。



2 ミニタワー PC ワークステーションへのアクセサリのインストール方法

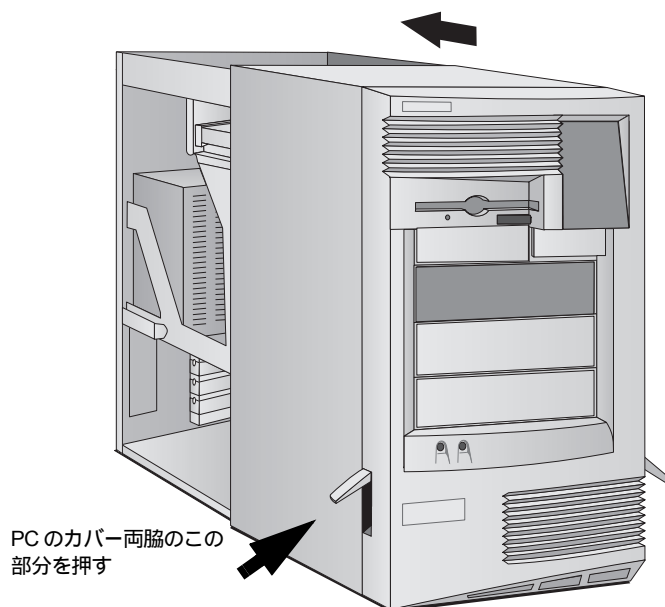
カバーの取り付けと取り外し

- 5 コンピュータ背面のカバーの両脇をつかみ、手前にスライドさせて取り外します。



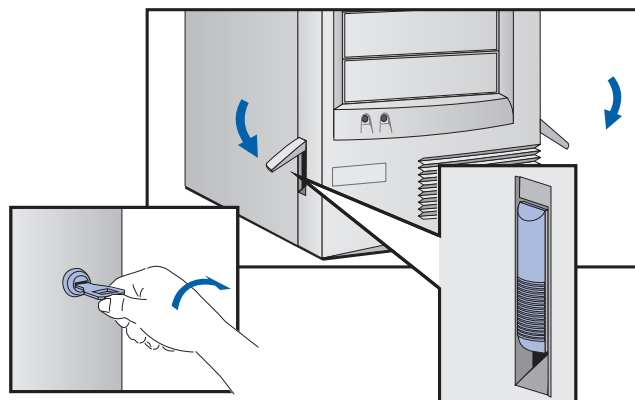
カバーの取り付け

- 1 すべてのアクセサリのインストールが完了しているか、また、本体内部のコード類がすべて正しく接続され、安全な位置にあるか確認します。
- 2 カバー前面横の2つのラッチが上がっているか、また、ロックが解除されているか確認します。
- 3 コンピュータ本体の底部両脇にあるレールとケースのガイドを合わせて、コンピュータ本体にカバーをかぶせます。最終位置まで確実にスライドさせてください。



2 ミニタワー PC ワークステーションへのアクセサリのインストール方法 カバーの取り付けと取り外し

- 4 カバー前面横のラッチを下ろします。

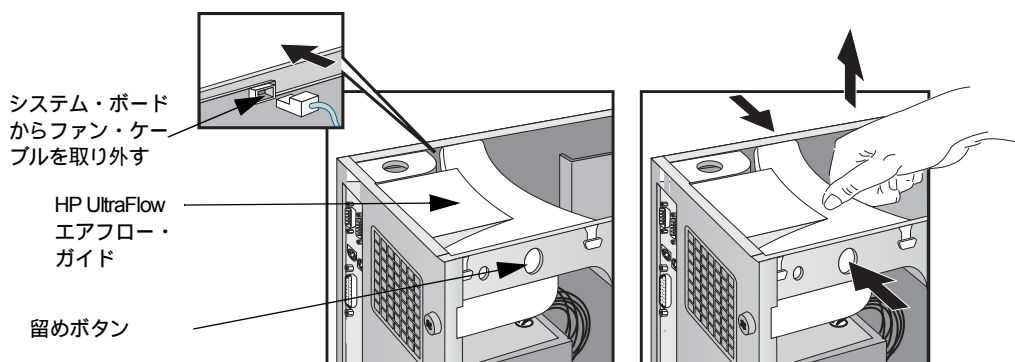


- 5 必要に応じて、付属のキーを使用してカバーをロックします。
- 6 電源コードや通信ケーブル等をすべて接続します。

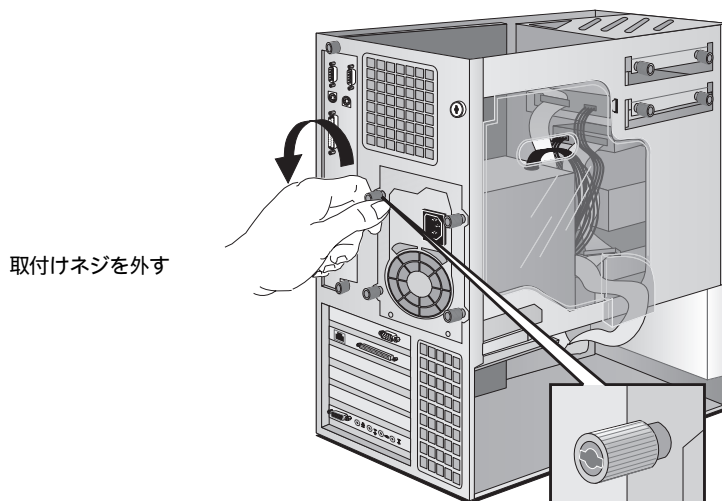
電源装置の移動

システム・ボードやディスク・ドライブ背面のケーブルの作業を行う際は、電源装置をコンピュータ本体から引き出すと作業がしやすくなります。

- 1 コンピュータ本体の電源コードを取り外します。通信ケーブルを接続している場合は、それらも取り外します。
- 2 コンピュータのカバーを取り外します (27ページを参照)。
- 3 システム・ボードからファン・ケーブルを取り外します。



- 4 HP UltraFlowエアフロー・ガイド両側の留めボタンを押して、PCワークステーションの本体から取り出します。
- 5 電源装置の背面にある4本の取付けネジを外します。

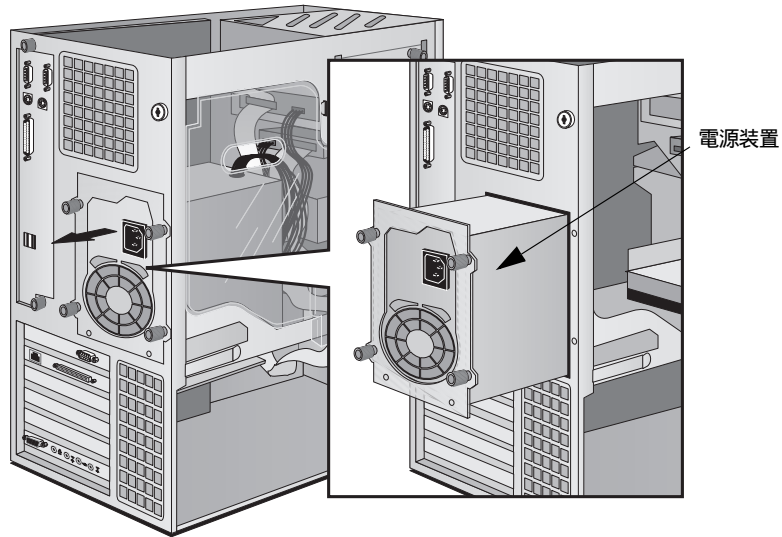


警告

感電の恐れがあるので、電源装置は開けないでください。

- 6 電源装置を手前までいっぱい引き出します。このとき、電源装置はコンピュータに接続されたままになっています。

電源装置を手前まで
いっぱい引き出
す。



アクセサリをインス
トールした後で電源装
置を元の位置に戻す

- 1 本体内部のコード類がすべて正しく接続され、また安全な位置にあるか確認します。
- 2 電源装置をコンピュータ内部に押し戻します。
- 3 4本の取付けネジを絞めます。
- 4 HP UltraFlowエアフロー・ガイドを元の位置に取り付けます。
- 5 ファンをシステム・ボードに取り付けます。

メモリのインストール

メイン・メモリ・モジュール

アプリケーション・ソフトウェアに合わせてメイン・メモリを増設する必要がある場合は、3つの100 MHz DIMMスロットに合計で最大768 MBまで増設できます。

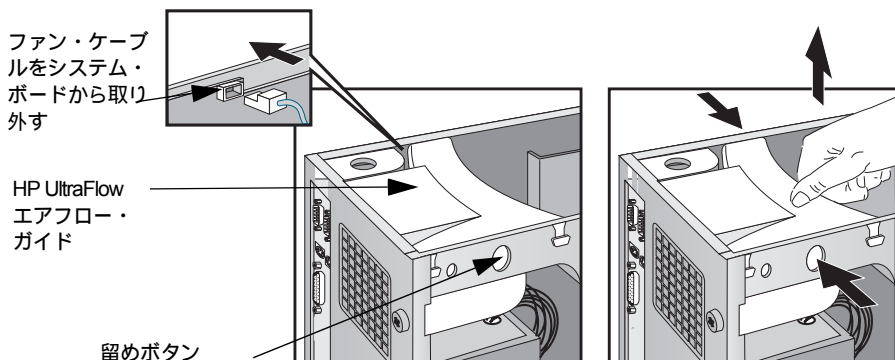
増設用メモリには、シングルで32 MB、64 MB、128 MBまたは256 MBのSDRAM(ノンバッファ)メモリ・モジュールを使用できます。

警告

電子部品は、静電気によって破壊されることがあります。メモリをインストールするときは、すべての機器の電源を切り、衣服がアクセサリに触れないようにしてください。また、静電気の発生を防止するため、アクセサリを袋から取り出すときは、袋を電源装置の上に置いてください。アクセサリの取り扱いには細心の注意を払い、必要な箇所以外には触れないでください。

メイン・メモリ・モジュールは次の手順でインストールします。

- 1 コンピュータ本体の電源コードと通信ケーブル等を取り外します。
- 2 コンピュータのカバーを取り外します(27ページを参照)。
- 3 システム・ボードからファン・ケーブルを取り外します。

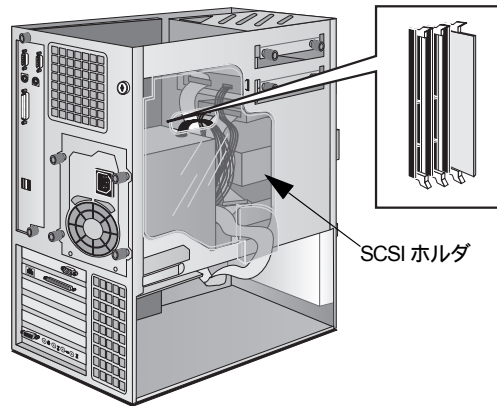


- 4 HP UltraFlowエアフロー・ガイドの両側にある留めボタンを押して、エアフロー・ガイドを持ち上げ、PCワークステーションのケースから取り出します。

2 ミニタワー PC ワークステーションへのアクセサリのインストール方法

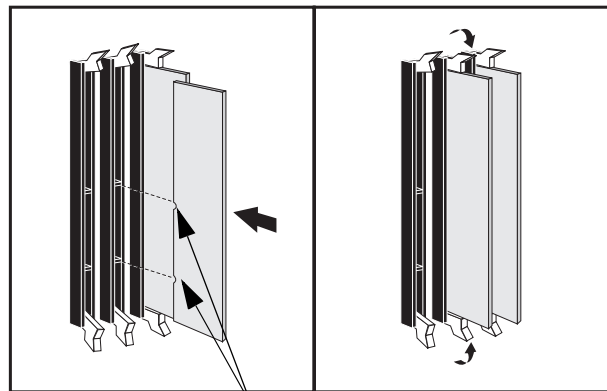
メモリのインストール

- 5 プロセッサ・ソケットの上にある透明なエアフロー・ガイドを取り外します（必要に応じて行ってください）。
- 6 メモリ・モジュール・スロットに手が届きやすいように、透明な SCSI ホルダを取り外します。
- 7 メモリ・モジュール・スロットの位置は次の図のとおりです。



- 8 システム・ボードに対して垂直にメモリ・モジュールをスロットに挿入します（モジュールの切り込みがプロセッサの反対側になるようにメモリ・モジュールを持ちます）。

システム・ボードに対して垂直にメモリ・モジュールを挿入する



取付けクリップがカチッと音を立てて一定の位置に収まるまでモジュールを押し込む

メモリ・モジュールの切り込み

- 9 取り付けクリップがカチッと音をたてて所定の位置に収まるまで、モジュールを確実にコネクタに押し込みます。

- 10 この手順を繰り返して、必要な増設メモリ・モジュールをインストールします。
- 11 メモリ・モジュール以外にもインストールするアクセサリがあれば必要に応じてインストールします。すべてのユニットを元に戻し、取り外したケーブルや電源コードを接続します。カバーを取り付けます(29ページを参照)。
- 12 HP サマリ画面をチェックして、新しい構成が正しく設定されているか調べます(88ページの「HPサマリ画面とSetupプログラム」を参照)。

他社製のビデオ・
アダプタ・アクセサリ

ビデオ MPEG モジュールなど、その他のアクセサリもビデオ・アダプタとしてご使用になれます。ただし、これらのアクセサリはHPでは注文の取り扱いをしていません。アクセサリの詳細については、販売店にお問い合わせください。

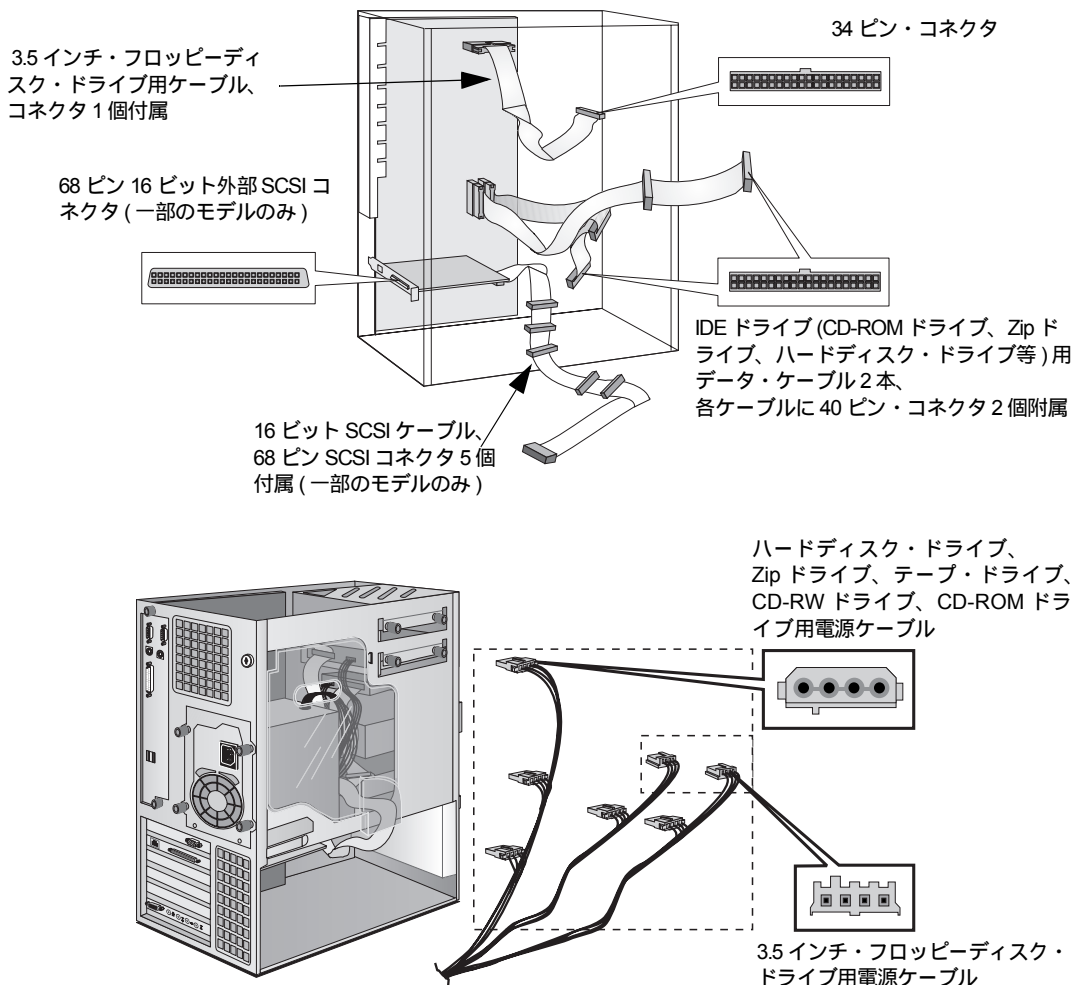
注記

ビデオ MPEG モジュールは、本PCに Matrox Millennium G200 グラフィックス・アクセラレータが搭載されている場合のみ使用できます。

大容量記憶装置のインストール

デバイスの接続

IDE Zip ドライブ、ハードディスク・ドライブ、CD-ROM ドライブ、CD-RW ドライブ、テープ・ドライブなどを増設する場合は、それらのドライブを電源ケーブルやデータ・ケーブルに接続しなければなりません。附属のデータ・ケーブルとコネクタの種類と形状を下図に示します。



IDEハードディスクをインストールする前に ドライブのインストール・ガイドを参照し、ジャンパの設定が必要か、特殊なインストール手順がないか確認してください。

SCSIハードディスクをインストールする前に SCSIドライブを増設する場合は、新しいドライブに未使用のSCSI IDを割り当てる必要があります。SCSI IDは、Ultra Wide 16ビットSCSIの場合、0～15の範囲の番号です。SCSI ID 0は1台目のSCSIハードディスク・ドライブが使用し、SCSI ID 7は内蔵のSCSIコントローラ用に予約されています (Narrow/Wide SCSI デバイスに対するデフォルト設定)。

注記

SCAM プロトコルをサポートする Plug and Play 対応の SCSI ハードディスクに対しては、SCSI ID を選択する必要はありません。

増設した SCSI ハードディスク・ドライブには、未使用の SCSI ID を割り当てなければなりません (例えば、SCSI ID1)。

SCSI ID は、通常は SCSI ハードディスク・ドライブ上のジャンパで設定します。SCSI ID の選択方法については、ドライブに付属のインストール・ガイドを参照してください。

SCSI ディスク・ドライブによっては、コンピュータにインストールする前に、終端抵抗を取り外すか、無効にしなければならないものがあります。ドライブ固有のインストール手順などについては、ドライブに付属のインストール・ガイドを参照してください。

ハードディスク・ドライブを内部シェルフにインストールする

注記

内部シェルフには、高さ 1.6 インチと 1 インチのハードディスク・ドライブをそれぞれ 1 基ずつ収納できます。

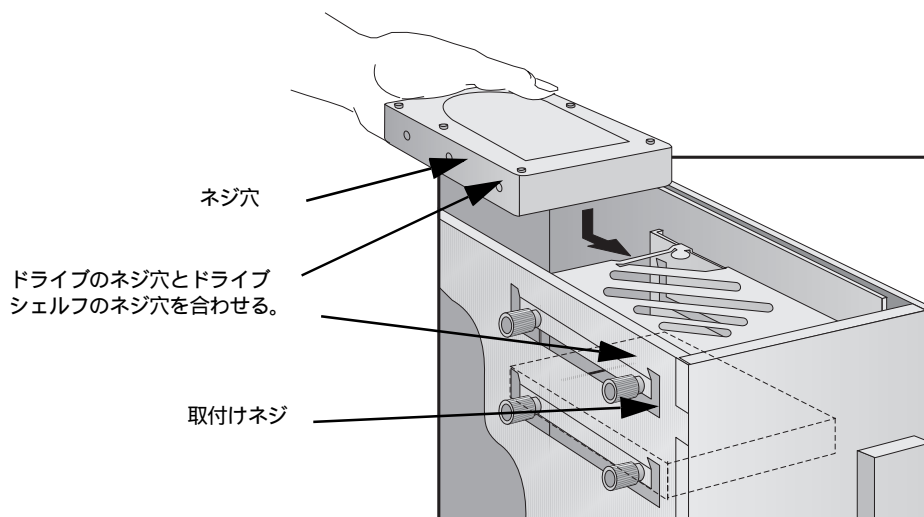
IDE デバイスを使用した構成の場合は、マスタ・ハードディスクを一番上のシェルフにインストールする必要があります。

- 1 コンピュータ本体の電源コードを取り外します。通信ケーブルが接続されている場合は、それらも取り外します。
- 2 コンピュータのカバーを取り外します (27 ページを参照)。
- 3 システム・ボードからファン・コネクタを取り外します (31 ページの図を参照)。

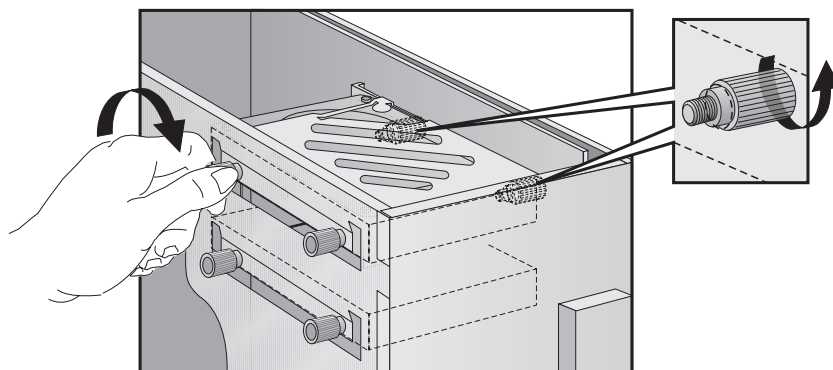
2 ミニタワー PC ワークステーションへのアクセサリのインストール方法

大容量記憶装置のインストール

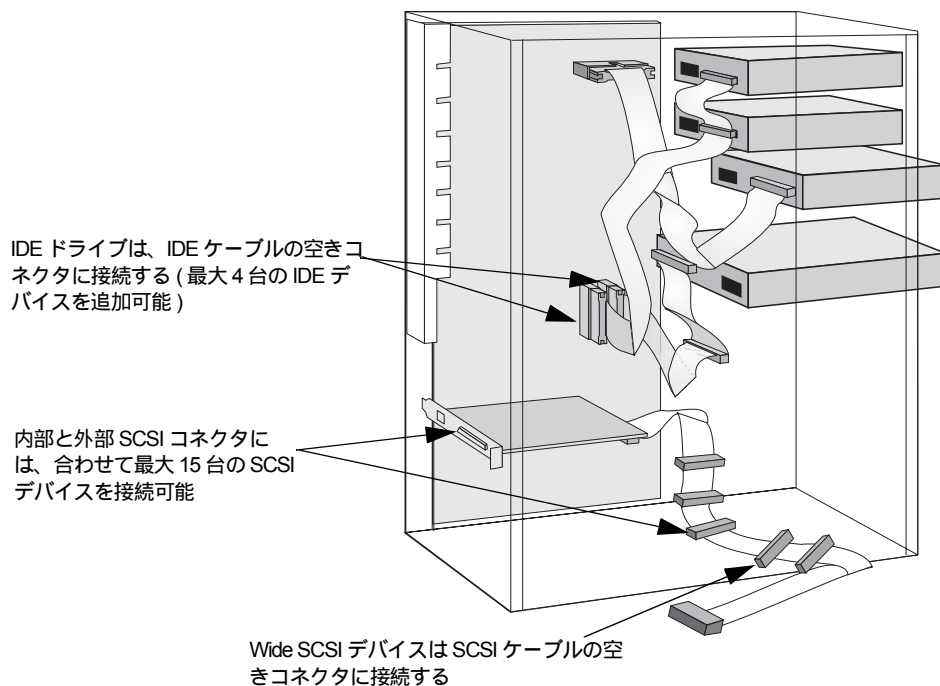
- 4 HP UltraFlowエアフロー・ガイドの両側にある留めボタンを押して、エアフロー・ガイドを持ち上げ、PC ワークステーションのケースから取り出します。
- 5 内部シェルフに手が届きやすいように、電源装置をスライドさせて取り出します (31 ページを参照)。
- 6 ドライブを1番目の内部シェルフの所定の位置に挿入し、ドライブのネジ穴とドライブ・シェルフの4つの取り付けネジを合わせます。



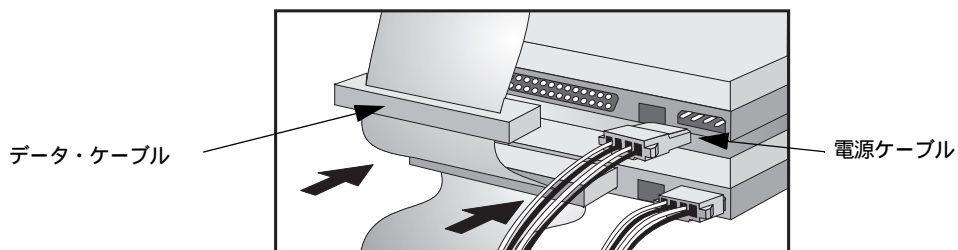
- 7 4本の取付けネジを締めます。



8 ハードディスク・ドライブ用のデータ・ケーブルを確認します。



9 電源ケーブルとデータ・ケーブルを、ドライブの背面に接続します。コネクタは、一方にしか差し込めない形になっています。



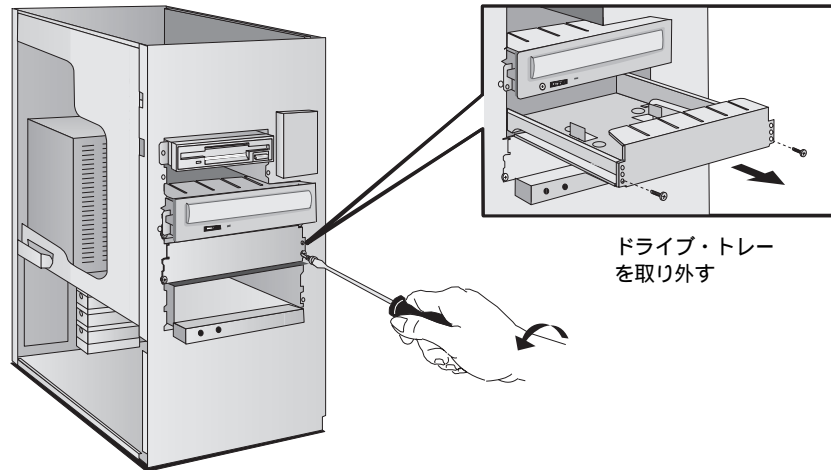
10 その他の必要なアクセサリをすべてインストールしたことを確認したら、カバーを取り付けます。

11 43 ページ の説明に従って、インストールを完了します。

2 ミニタワー PC ワークステーションへのアクセサリのインストール方法 大容量記憶装置のインストール

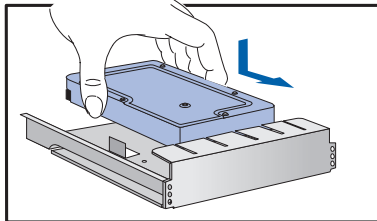
ハードディスク・ドライブをフロントアクセス・シェルフにインストールする

- 1 コンピュータ本体の電源コードを取り外します。通信ケーブルが接続されている場合は、それらも取り外します。
- 2 コンピュータ本体のカバーを取り外します (27 ページを参照)。
- 3 システム・ボードからファン・ケーブルを外します (31 ページの図を参照)。
- 4 HP UltraFlow エアフロー・ガイドの両側についている留めボタンを押し、PCワークステーションの本体から取り出します。
- 5 ディスク・ドライブのケーブルに手が届き易くするため、電源装置を引き出します (31 ページを参照)。
- 6 未使用のドライブ・トレイの取り付けネジを外し、トレイを取り外します。

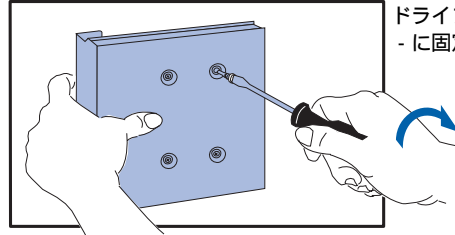


- 7 下図に示すように、ドライブをトレイ上に取り付けます。

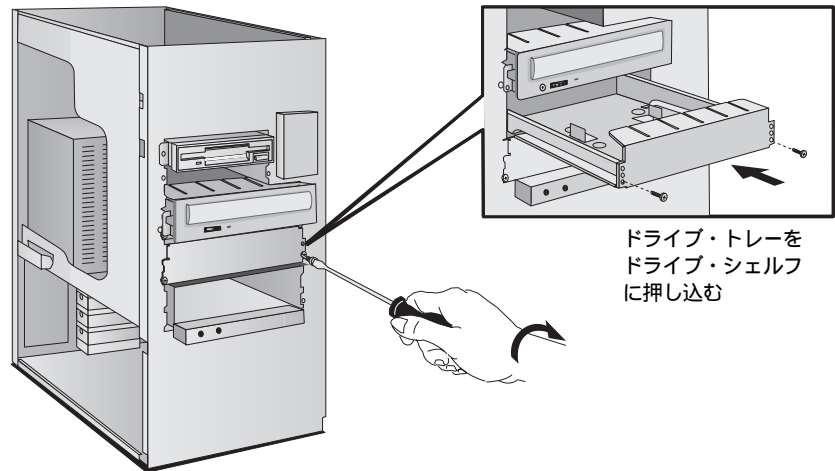
ドライブをトレイ
にセットする



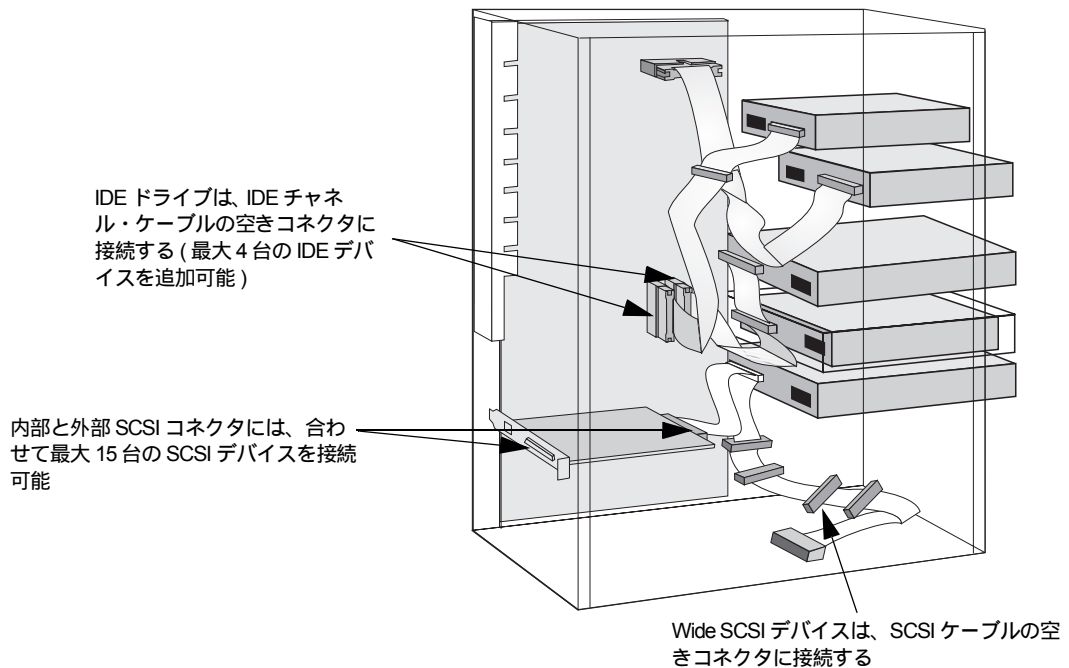
ドライブをトレイ
に固定する



- 8 ドライブ・トレイをドライブ・シェルフに押し込み、ネジで固定します。



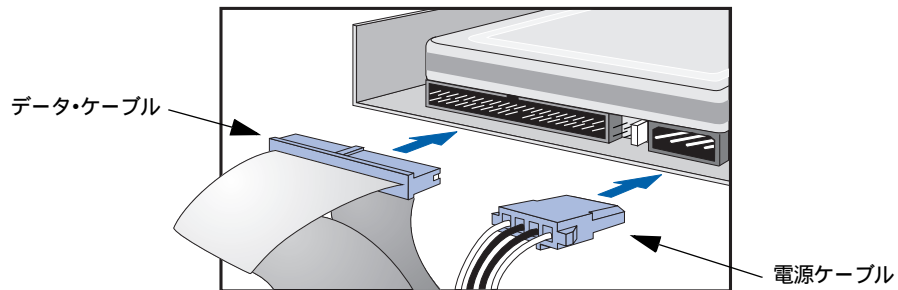
- 9 ディスク・ドライブ用のデータ・ケーブルを確認します。



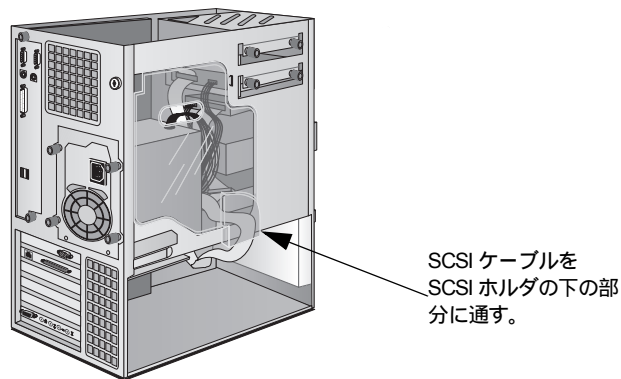
2 ミニタワー PC ワークステーションへのアクセサリのインストール方法

大容量記憶装置のインストール

- 10 電源ケーブルとデータ・ケーブルを、ドライブの背面に接続します。コネクタは、一方向にしか差し込めない形になっています。



- 11 SCSIデバイスをインストールする場合、SCSIホルダを取り外し、インストールするデバイスのケーブルをホルダの下部分に通します。ケーブルを通し終わったらホルダを取り付けます。



- 12 電源装置を元の位置に押し戻し、取り付けネジで固定します (32 ページを参照)。
- 13 HP UltraFlow エア・ガイドを元の位置の戻し、ファンをシステム・ボードに取り付けます (31 ページの図を参照)。
- 14 その他の必要なアクセサリをすべてインストールしたか確認したら、カバーを取り付けます。
- 15 次の要領でインストールを完了します。

ハードディスク・ドライブのインストールを完了する

SCSIドライブを新しく
インストールした場合

- 1 コンピュータ本体の電源を入れます。
- 2 互換性を確認するため、FDISKユーティリティを使用して、増設したハードディスク上のパーティションをすべて削除します。
- 3 コンピュータを再起動します。

ドライブをフォーマットする手順については、オペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。

IDEドライブをインス
トールした場合

- 1 コンピュータ本体の電源を入れます。
- 2 POSTでシステム内のデバイスを確認するため、PCワークステーションの再起動中に **Esc** キーを押します。
- 3 エラー・メッセージが表示されたら、Error Message ユーティリティの指示に従います。
- 4 ハードディスク・ドライブの設定を確認するには、プロンプトが表示された時点で、**F2** キーを押して Setup プログラムを実行します。**Advanced** メニューを選択し、次に **IDE Devices** サブメニューを選択します。**Primary Master** 項目を表示し、デバイスの詳細が Setup プログラムで正しく認識されているかどうか確認します。
- 5 **F3** キーを押し、設定を保存して Setup プログラムを終了します。

ドライブをフォーマットする手順については、オペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。

注記

IDE ドライブを取り外した場合は、コンピュータの電源を入れると、システム BIOS により、該当するデバイスが見つからないことが認識されます。**F4** キーを押して、デバイスを削除することを認めるとシステム構成が自動的に更新されます。

ドライブをフロントアクセス・シェルフにインストールする

次にドライブ(フロッピーディスク・ドライブ、CD-ROM ドライブ、CD-RW ドライブ、テープ・ドライブなど)をフロントアクセス・シェルフにインストールする方法について説明します。インストールの詳細については、ドライブに付属のマニュアルも合わせてご覧ください。

2 ミニタワー PC ワークステーションへのアクセサリのインストール方法

大容量記憶装置のインストール

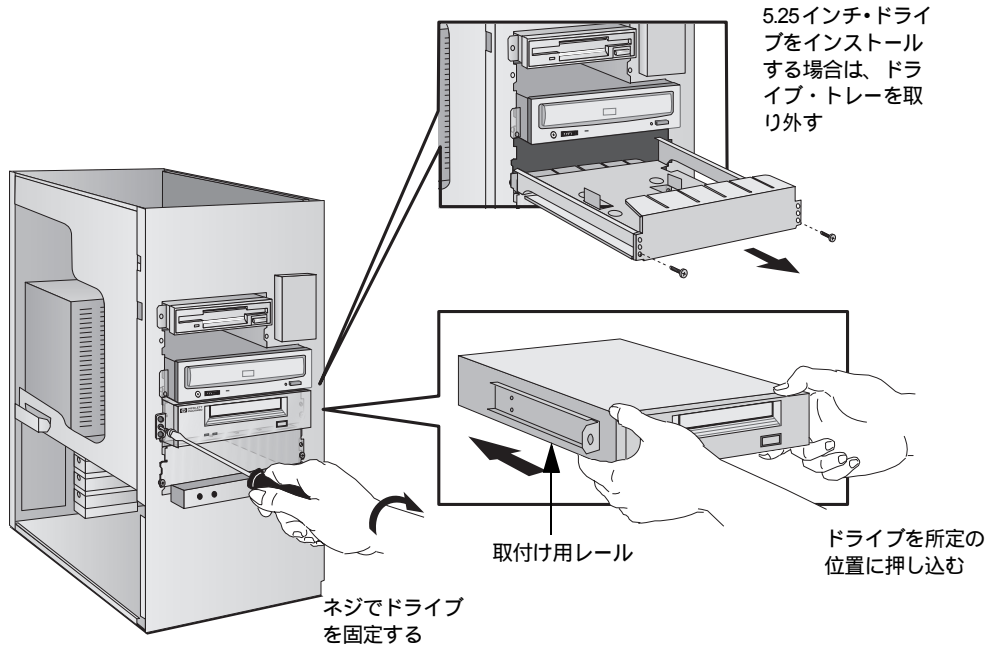
IDEデバイスを
インストールする前に

ドライブのインストール・ガイドを参照して、ジャンパを設定する必要はないか、特別な手順でインストールを行う必要がないか確認します。

SCSIデバイスを
インストールする前

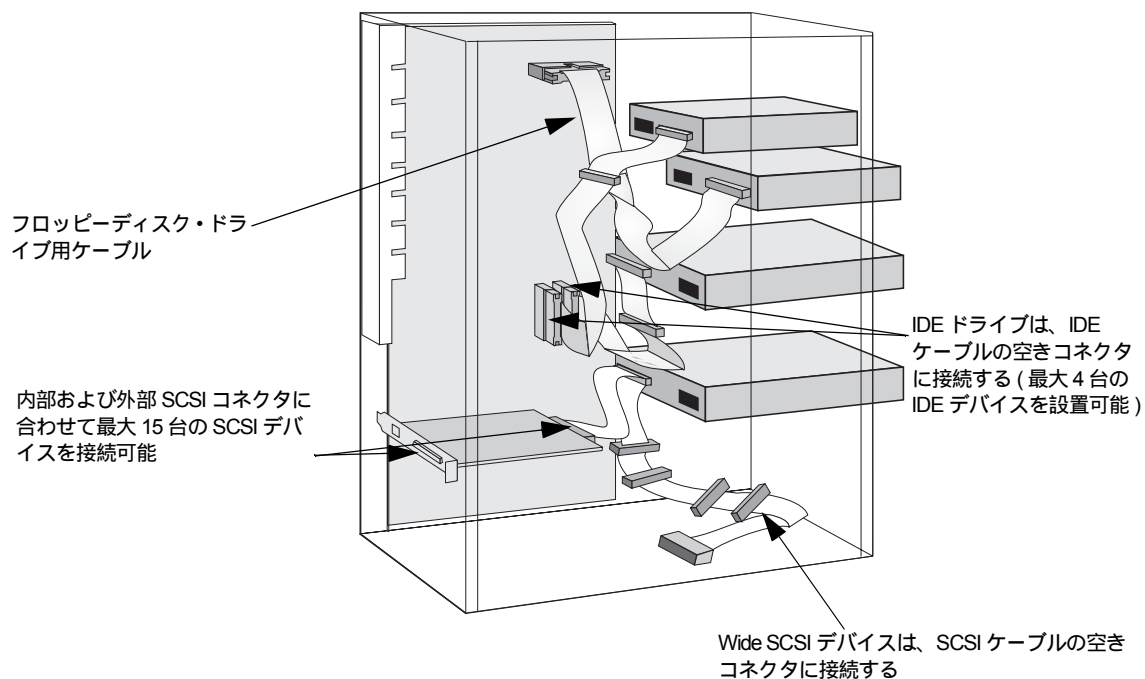
SCSIデバイスをインストールする場合は、37 ページの「SCSI ハードディスクをインストールする前に」を参照してから、以下の作業を始めてください。

- 1 コンピュータ本体の電源コードと通信ケーブル等を取り外します。
- 2 コンピュータのカバーを取り外します (27 ページを参照)。
- 3 ディスク・ドライブのケーブルに手が届きやすいように、電源装置を引き出します (31 ページを参照)。
- 4 ドライブを 5.25 インチ幅のシェルフにインストールする場合は、ドライブ・トレイを取り外します。

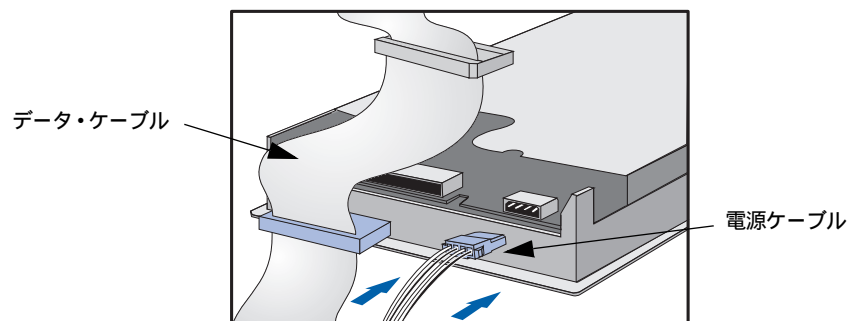


- 5 ドライブをシェルフに押し込みます。
- 6 ドライブに付属しているネジを使用し、ドライブを所定の位置に固定します。

7 接続するデバイスに適したデータ・ケーブルを確認します。



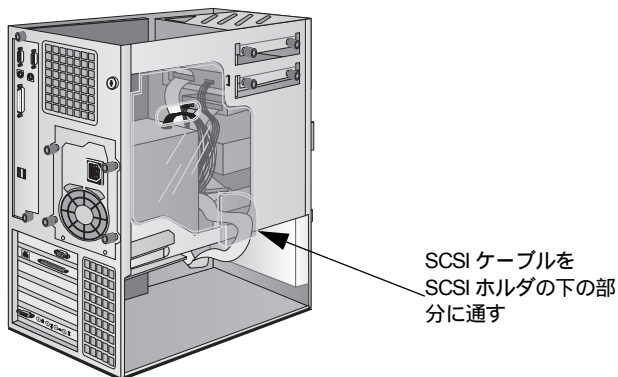
8 電源ケーブルとデータ・ケーブルを、デバイスの背面に接続します。コネクタは、一方向にしか差し込めない形になっています。



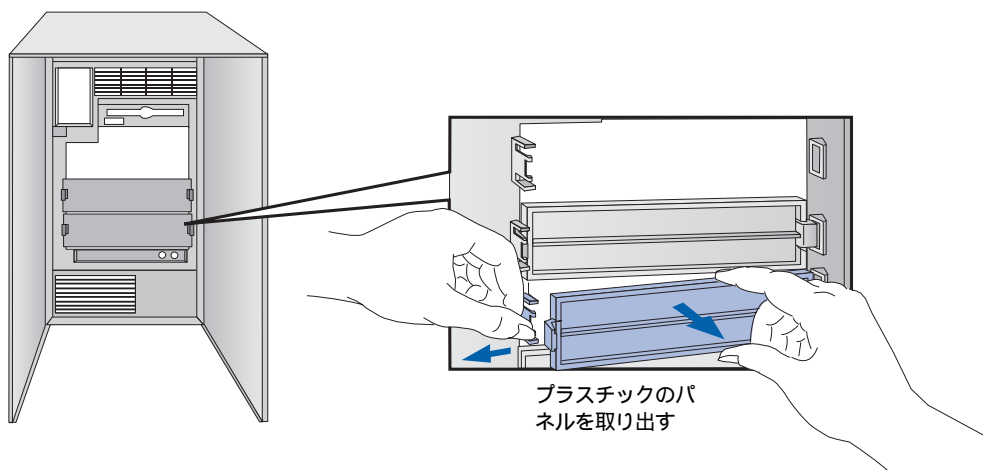
2 ミニタワー PC ワークステーションへのアクセサリのインストール方法

大容量記憶装置のインストール

- 9 SCSIデバイスをインストールする場合、SCSIホルダを取り外し、インストールするデバイスのケーブルをホルダの下の部分に通します。ケーブルを通し終わったらホルダを取り付けます。



- 10 電源装置を元の位置に押し戻し、4本の留めネジで固定します (32 ページを参照)。
- 11 プラスチックのパネルをカバーから取り外します。パネルの左側を手前に引き、右側のヒンジから外します。パネルは大切に保管しておいてください。



- 12 その他の必要なアクセサリをすべてインストールしたか確認したら、カバーを取り付けます。

ドライブのインストールを完了する

IDE CD-ROM ドライブをインストールした場合

- 1 コンピュータ本体の電源を入れ、**F2 Setup**と表示されたら **F2**キーを押します。
- 2 Setup プログラムで**Advanced**メニューを選択し、次に**IDE Devices**サブメニューを選択します。IDE チャンネルで CD-ROM ドライブが検出されているか確認します。
- 3 **F3**キーを押し、設定を保存して Setup プログラムを終了します。

フロッピーディスク・ドライブをインストールした場合

- 1 コンピュータ本体の電源を入れ、**F2 Setup**と表示されたら **F2**キーを押します
- 2 Setup プログラムの**Advanced**メニューを選択し、次に**Flexible Disk Drives**サブメニューを選択して、ドライブが検出されているか確認します。
- 3 **F3** キーを押し、設定を保存して Setup プログラムを終了します。

アクセサリ・ボードのインストール

注意

電子部品は、静電気によって破壊されることがあります。メモリをインストールするときは、すべての機器の電源を切り、衣服がアクセサリに触れないようにしてください。また、静電気の発生を防止するため、アクセサリを袋から取り出すときは、袋を電源装置の上に置いてください。アクセサリの取り扱いには細心の注意を払い、必要な箇所以外には触れないでください。

本PCワークステーションには、以下のアクセサリ・ボード用スロットがあります。

- スロットAT 2 (最下段のスロット): フルサイズ16ビットISAボード用
- スロットAT 1/PCI 4: 16ビットISAボードまたはフルサイズ32ビットPCIボード用
- スロットPCI 3: フルサイズ32ビットPCIボード用
- スロットPCI 2: フルサイズ32ビットPCIボード用
- スロットPCI 1: フルサイズ32ビットPCIボード用
- スロットAGP: ビデオ・アダプタ・ボード用

ボードをインストールする

- 1 コンピュータ本体の電源コードを取り外します。LANケーブル、または通信ケーブルが接続されている場合は、それらも取り外します。

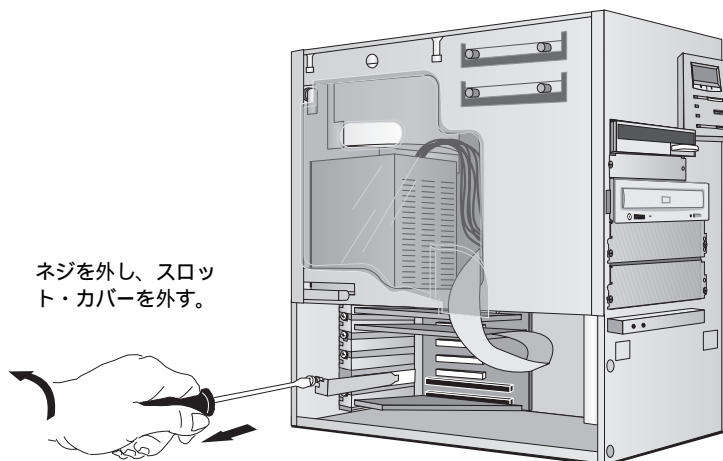
注記

PCIボードの設定は、PCワークステーションにインストールされた時点で自動的に行われます。

- 2 コンピュータのカバーを取り外し (27ページの「カバーの取り付けと取り外し」を参照)、本体側面を下にして置きます。
- 3 空きスロットを探します。84ページの「システム・コネクタとスイッチ」を参考にして、インストールするISAまたはPCIの種類に適したスロットの位置を確認します (ISA または PCI)。

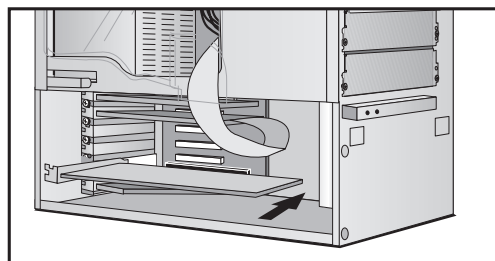
ボードによっては、インストール先のスロットが指定されているものがあります。詳細は、各ボードのマニュアルを参照してください。

- 4 ネジを外し、スロット・カバーを取り外します。取り外したスロット・カバーは、大切に保管してください。スロット・カバーが取り外しにくい場合は、隣接するスロットのネジをゆるめてください。



- 5 ボードの先端を水平に持って、選択したスロットのボード・ガイドに沿って押し込みます。このとき、ボードを曲げないようにしてください。

ボード・ガイドに沿ってアクセサリ・ボードを押し込む

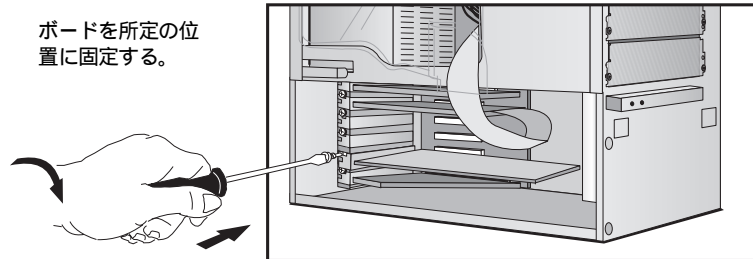


- 6 ボードのコネクタをスロットのソケットに合わせ、ボードをソケットに押し込みます。ボードのコネクタがソケットに確実に挿入され、またボードが他のボードの部品に接触していないか確認します。

2 ミニタワー PC ワークステーションへのアクセサリのインストール方法

アクセサリ・ボードのインストール

- 7 スロット・カバーのネジを取り付け、ボードを固定します。隣接するスロットのネジをゆるめていた場合は、それらも締め直します。



- 8 その他の必要なアクセサリをすべてインストールしたことを確認したら、カバーを取り付けます (29 ページを参照)。ケーブルや電源コードをすべて接続します。

ISA アクセサリ・ボードのインストールを完了する

Plug and Play 非対応の ISA アクセサリ・ボードをインストールした場合、Setup プログラムを実行し、そのアクセサリ・ボードの IRQ を予約してください。これにより、PCI デバイスの自動設定が可能になります。

- 1 PC ワークステーション本体の電源を入れ、**F2 Setup** と表示されたら **F2** キーを押します。
- 2 Setup プログラムで、**Advanced** メニューを選択し、次に **ISA Resource Exclusion** サブメニューを選択します。IRQ と IRQ を使用中のデバイスの一覧が表示されます。変更したい IRQ フィールド (例えば、**IRQ 11**) をハイライト表示します。
- 3 スペース・バー、または **F7** キーか **F8** キーを押し、PCI に対して IRQ を使用可能にする (**Available**) が使用不能 (**Reserved**) にします。
- 4 **F3** キーを押し、変更を保存して Setup プログラムを終了します。

注記

内蔵の PCI デバイスが使用できるように、少なくとも 1 つの IRQ を常時使用可能にしておかなければなりません。

HP Kayak PC ワークステーションのトラブルシューティング

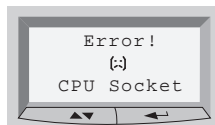
本章では、HP PC ワークステーションを使用する上での様々な問題の解決方法について詳しく説明します。

HP MaxiLife を使って問題点を診断する

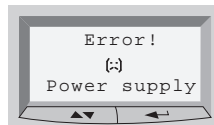
HP LCD を使用して、お使いのシステムとモニタが正常に動作していないときでも、PC ワークステーションの問題点を診断できます。

ブート前の確認

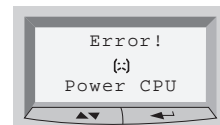
PC ワークステーションのオン/オフボタンを押すと、HP MaxiLife は、スタートアップ手順を開始する前にシステムのチェックを行います。チェックの実行中、次のいずれかのメッセージが LCD に表示されます。



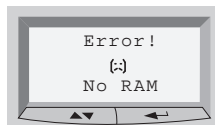
プロセッサが CPU スロットに正しくインストールされているかチェックしてください。



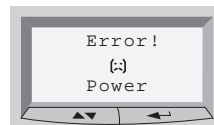
電源と電源ケーブルの接続が正しいかチェックしてください。



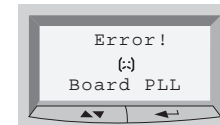
プロセッサのインストールをチェックしてください。



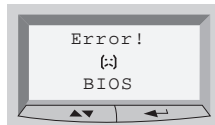
メモリのインストールをチェックしてください。



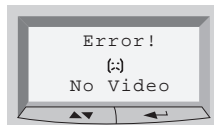
電源装置が正しく接続されているかチェックしてください。



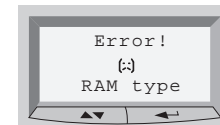
システム・ボードをチェックしてください。



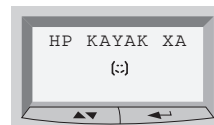
新しい BIOS にアップデートするか、緊急スイッチ(システム・ボード・スイッチ 10)を使用してシステムを起動してください。



グラフィック・カードのインストールが正しいかチェックしてください。



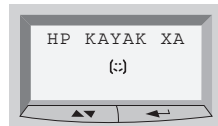
インストールした RAM の互換性をチェックしてください。



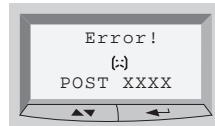
ブリーブ中にエラーは発生しませんでした。POST が開始します。

POSTフェーズ

以上のチェックの後、POST (Power-On Self Test) が開始します。テスト中、次のいずれかのメッセージが表示されます。



エラーは発生しませんでした。



POSTエラーが発生しました。詳細は、60ページ「POSTエラー・メッセージが表示されるとき」を参照してください。

その他の機能

HP MaxiLifeは以下の目的に合わせて設定することも可能です。

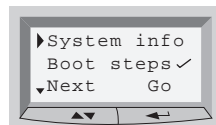
- サポートを受ける際に必要となる PC ワークステーションの設定内容を詳細表示する (System info)。
- パワーオン時に、POST(Power-On Self Test) の実行手順を表示する (Boot steps)。
- PC ワークステーションの各ハードウェア・コンポーネントに対して診断テストを行い、診断結果を表示する (Diags)。

HP LCDの設定方法

- 1 PC ワークステーションの電源コードがプラグに正しく接続されていることを確認します。

この状態で、(たとえシステムの電源が入ってなくても) PC ワークステーションのハードウェア管理チップはアクティブになっています。

- 2 LCDコントロール・ボタンのどれかを押すと、次の画面が表示されます。



- 3 ▼▲ を使ってメニュー項目をスクロールさせ、必要なメニュー項目のところで ← を押して選択します。

3 HP Kayak PC ワークステーションのトラブルシューティング

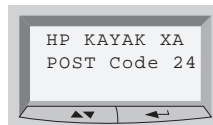
HP MaxiLife を使って問題点を診断する

System Info. システム情報は、LCD に一画面ずつ表示され、以下の項目の各詳細を示します。

- 製品名
- BIOSバージョン
- シリアル番号
- プロセッサのタイプと速度
- インストールされているメモリ・モジュールの数と容量

これらの詳細を表示するには、▼▲ ボタンを使って情報画面をスクロールさせます。

Boot Steps Boot Steps オプション(使用できる場合)を使うと、次にPCワークステーションの電源をオンにしたとき、すべての POST 手順が表示されます。サポートの便宜のため、POST 手順は、次のように POST コードで LCD に表示されます。



次にPCワークステーションの電源をオンにしたとき、Postの手順がLCDに表示されます。

Diags Diagsが選択されていてPCワークステーションの電源がオフの場合、LCDには第2メニューが表示されます。診断テストを実行するには、このメニューから[Power on]を選択して、システムの各コンポーネントのステータスを評価するためのハードウェア管理チップを有効にします。

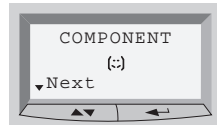
PC ワークステーションの電源がすでにオンになっている場合は、LCD のメイン・メニューでDiagsを選択するとすぐに診断テストが開始します。

テストは次を対象に実行されます。

- CPU Socket
- Power
- Power CPU
- Board PLL
- DIMM Found

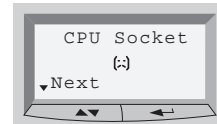
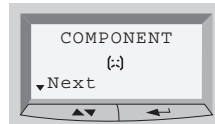
各システム・コンポーネントのテスト結果を見るには、▼▲ コントロール・ボタンを押します。

コンポーネント・エラーが何も検出されなかった場合は、次の画面が表示されます。



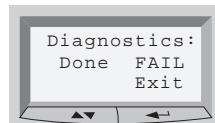
エラーは検出されませんでした。

エラーが検出された場合は、問題点を示したエラー画面が表示されます。他のシステム・コンポーネントのテスト結果を続けて表示するには、▼▲コントロール・ボタンを押します。

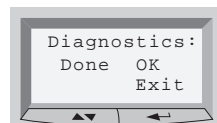


例えば、プロセッサが正しく装着されていない場合、次のエラー画面が現れます。詳細は、62ページの「Check Internal Items」をしてください。

診断テストが完了すると、次のいずれかの画面が表示されます。



システム・エラーが検出されました。



エラーは検出されませんでした。

テスト・セッションを終了するには、◀ボタンを押します。

HP DiagTools

DiagTools により、HP の PC および PC ワークステーション上で起きるハードウェア関連の不具合の診断が容易になります。このユーティリティには、次のような機能があります。

- システムの設定をチェックし、システムが正常に機能していることを検証する。
- ハードウェア関連の不具合を診断する。
- HP のサポート担当者が不具合を迅速かつ効率的に解決できるよう、正確な情報を提供する。

ユーティリティのインストール

まず、このユーティリティの最新バージョンをインストールして、使用方法を理解しておいてください。

インストール方法とインストール先については、『Vectra/Kayak Hardware Diagnostic User's Guide』（英文）に記載されています。本ガイド (PDF 形式 = Adobe Acrobat) は、HP の WWW サイトからダウンロードしてお読みください。

ハードウェア関連の不具合の診断には、常に最新バージョンが必要不可欠です。サポートをお受けになる際は、必ず最新バージョンをご用意ください。

最新バージョンは、毎日 24 時間利用可能な HP 電子情報サービスから入手することができます。

電子情報サービスへは、次の HP WWW サイトからアクセスしてください。
<http://www.hp.com/go/kayaksupport>

診断ユーティリティの 本ユーティリティは、以下の手順で開始します。
開始

- 1 すべてのアプリケーションを終了し、オペレーティング・システムをシャットダウンして、PCワークステーションを再起動します。
 - a フロッピーディスクからユーティリティを起動する場合は、ディスクをフロッピーディスク・ドライブに挿入してからPCワークステーションを再起動します。再起動するとただちに、ユーティリティが自動的に実行され、Welcome画面が表示されます。
 - b ハードディスク・ドライブからユーティリティを実行する場合は、再起動時に通常のオペレーティング・システムとユーティリティのどちらかを選択するオプションが表示されます。Vectra/ Kayak Hardware Diagnostics オプションを選択すると、ユーティリティが自動的に起動し、Welcome画面が表示されます。
- 2 F2キーを押して次に進みます。画面に表示される指示にしたがって、診断テストを実行します。

ユーティリティは、システムのハードウェア構成を自動検出した後、ただちに診断テストを実行します。

ベーシック・
システム・テスト

システム・ハードウェアの稼動状態を検証するには、ベーシック・システム・テストを実行します。

アドバンスト・
システム・テスト

各システム・コンポーネント内部のより綿密なテストを行うには、アドバンスト・システム・テストを実行します。

注記

アドバンスト・テストは、中級または上級ユーザの方に適しています。

サポート・チケット

システム構成とテスト結果の記録を正しく残しておくためには、サポート・チケットを作成する必要があります。サポート・チケットは、最寄りのHPサポート窓口まで電子メールまたはファックスでお送りください。

本ユーティリティの使用方法についての詳細は、『Vectra/Kayak Hardware Diagnostics User's Guide』(英文)に記載されています。本ガイドは下記のHP WWWサイトからダウンロードしてお読みください。

<http://www.hp.com/go/kayaksupport>

PCワークステーションを正常に起動できないとき

電源を入れてもPCワークステーションが起動しない場合、また次のような症状がある場合は、本項を参照してください。

- 画面が表示されず、エラー・メッセージもない。
- Setup プログラムで値を変更できない。
- POSTエラー・メッセージが表示される。
- LCD画面にエラー・メッセージと (X) アイコンが表示される (52ページの「HP MaxiLifeを使って問題点を診断する」を参照)。

画面が表示されず、エラー・メッセージもない

電源を入れても画面が表示されず、エラー・メッセージもない場合は、次の手順にしたがってください。

- 1 LCD画面の点検 (52ページの「HP MaxiLifeを使って問題点を診断する」を参照)
- 2 外部項目の点検
- 3 内部項目の点検
- 4 アクセサリの再インストール (60ページを参照)

外部項目の点検

次のような外部項目が正しく機能しているか確認します。

- コンピュータやディスプレイの電源が入っているか (電源ライトが点灯しているか)。
- ディスプレイのコントラストや輝度の調節は適切か。
- ケーブルや電源コードはしっかりと差し込まれているか。
- 電源コンセントに異常はないか。

内部項目の点検

外部項目に異常が発見されない場合は、次の手順で内部項目を点検してください。

- 1 ディスプレイ、コンピュータ本体、およびすべての周辺装置の電源をオフします。
- 2 すべての電源コードおよびケーブルをそれらの位置を確認しながら外します。また通信ネットワークへの接続も外します。
- 3 コンピュータ本体のカバーを取り外します。次の項目を点検します。

LCD エラー メッセージ	対処方法	参照
-	内部ケーブルをすべて点検する	接続箇所や接続状態が正しいか確認する
-	ステータス・パネルがシステムボードに正しく接続されているか確認する	コネクタの接続箇所や接続状態が正しいか確認する
Power CPU	プロセッサが正しくインストールされているか確認する	プロセッサがしっかりと装着されているか確認する
CPU error	PC ワークステーションをリセットするか、LAN の電源をオフにする	詳細は、『ユーザーズ・ガイド』を参照。
No RAM, RAM type	メモリ・モジュールのインストールは正しいか確認する	7 ページ「メモリのインストール」を参照
-	アクセサリ・ボードがスロットにきちんと装着されているか確認する	21 ページ「アクセサリ・ボードのインストール」を参照
-	アクセサリ・ボードのスイッチやジャンパの設定は正しいか確認する	各ボードのマニュアルを参照
-	システム・ボードのスイッチの設定は正しいか確認する	85 ページ「システム・ボード・スイッチ」を参照
Temp disk, Temp CPU, Temp IO slot	ファンを点検し、エアフロー・ガイドが妨げられていないか確認する	5 ページの図を参照
Fan CPU, Fan IO slot	ファンのインストールは正しいか確認する	5 ページの図を参照。
Power/Power supply	電源の接続は正しいか確認する	6 ページ「アクセサリをインストールした後で電源装置を元の位置に戻す」を参照
No video	ビデオ・カードのインストールは正しいか確認する	ビデオ・カード付属のマニュアルを参照

- 4 カバーを取り付けます。
- 5 ケーブルや電源コードをすべて接続します。
- 6 ディスプレイとPC本体の電源をオンにします。

アクセサリの 再インストール

以上の点検でもPCワークステーションが起動できないときは、ハードディスクとビデオ・ボード以外の増設ボードやアクセサリを取り外します。PCワークステーションを起動し、PCワークステーションが正常に働くときは、アクセサリ・ボードやアクセサリを一つずつ取り付けて、どれに問題があるかを調べます。

Setupプログラムの値を変更できない

パスワードの入力が正しかったかどうか確認します。

POSTエラー・メッセージが表示される

POST(パワーオン・セルフ・テスト)は、エラーと設定への変更を検出します。どちらの場合も、エラー・コードと短い説明文が表示されます。エラーの種類によって、次に示すうち一つまたはいくつかの選択が可能です。

- **F1** キーを押して、メッセージを無視しプロセスを続けます。
- **F2** キーを押して Setup プログラムを実行し、システム設定エラーを修正します。そのままでも一応システムがスタートできるような場合でも、ここでエラーを解決しておくことをお勧めします。
- **F4** キーを押して変更を認め、Setup の設定情報を更新します。
- **Enter** キーを押すと、メッセージの詳細を表示できます。見終わった後は、POST 画面に戻ります。メッセージが、自分が行なった変更 (例えばメモリの一部を取り外したなど) を原因とする適正なものの場合は、**F4** キーを押して変更情報を認め、Setup の設定情報を更新します。または、**F1** キーを押してメッセージを無視しプロセスを続けるか、**F2** キーを押して Setup プログラムを実行し、システム設定エラーの修正を行います (選択肢の数は、エラーの種類によって異なります)。

設定メモリのクリア PCワークステーションをスタートできても、まだPOSTでエラーが報告される場合は、設定メモリの値をクリアして内蔵のデフォルト値を再ロードします。

- 1 PC ワークステーションの電源を切り、電源コードやネットワーク・ケーブルを外します。PCワークステーション本体のカバーを取り外します。
 - a システム・ボード・スイッチの6(CLEAR CMOS)をDOWNの位置にして既存の設定をクリアします。
 - b カバーを取り付け、電源コードのみを接続します。
 - c PCワークステーションの電源を入れます。これによりCMOSメモリがクリアされます。
 - d PCワークステーションの起動を待ちます。次を意味するメッセージが表示されます。
「設定はクリアされました。スイッチ Clear CMOS を Up/Off の位置にした後、再起動してください」
 - e PCワークステーションの電源を切り、電源ケーブルを外して、カバーを取り外します。
 - f システム・ボード・スイッチの6(CLEAR CMOS)をUPの位置にして、設定を保持します。
- 2 カバーを取り付け、電源コードやケーブルを接続します。
- 3 PC ワークステーションの電源を入れます。次を意味するエラー・メッセージが表示されます。

画面上:

PC ワークステーションの LCD 上:

「PC の設定が正しくありません」

Error! POST 0012

起動がストップします。**Enter** キーを押し (システム・エラーが表示されます)、続いて **Esc** キーを押します。

- 4 **F2** キーを押して、Setup プログラムを実行します。CMOS デフォルト値は、自動的にロードおよび保存されます。
- 5 ここで必要なすべての変更を行ない、**Esc** キーを押して設定を保存し、Setup プログラムを終了します。

PCワークステーションの電源を切れないとき

PCワークステーションを終了できず、電源ランプがオレンジまたは赤に点灯して低い唸り音が聞こえるときは、本項を参照してください。

- PC ワークステーションがロックされていないか確認します。ロックされていると、電源を切ることはできません。ロック中は、電源ライトが赤に点灯します。PC ワークステーションのロックを解除するには、パスワードを入力する必要があります。
- サスペンド・モードまたはスタンバイ・モードになっていないか確認します。サスペンド・モードやスタンバイ・モードになっていると、電源ライトがオレンジに点灯します。この状態で電源をオフにすると、情報やデータを失うおそれがあります (HP Setup プログラムの **Power** メニューを参照)。

注意

電源オン / オフボタンを 4 秒間押し続けると、システムは自動的に終了します。ただし、オペレーティング・システムの正式な終了の仕方ではないのでご注意ください。

ハードウェアに問題があるとき

本項では、ディスプレイ、ディスク・ドライブ、プリンタ、アクセサリ・ボード、キーボード、マウスの問題の解決方法について説明します。

ディスプレイが動作しない

表示がぶれたり、
表示が読めない

ディスプレイの選択が正しくないと、表示がぶれたり、読めなかったりすることがあります。このような場合は、ご使用のオペレーティング・システムの手順にしたがって適切なディスプレイを選択してください。詳細は、オペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。

画面に何も表示
されない

画面に何も表示されないものの、コンピュータが起動し、キーボードやディスク・ドライブ、その他の周辺機器が正常に動作していると思われるときは、次の手順に従います。

- PCワークステーションのLCD表示を参考に問題点を診断します。
- ディスプレイの電源コードが接続されていて、電源がオンになっているか確認します。
- 輝度とコントラストの調節が適切か調べます。
- ディスプレイのビデオ・ケーブルの接続が正しいか調べます。
- ディスプレイの電源を切り、コンセントから電源コードを抜きます。
- ビデオ・ケーブルを外し、コネクタ・ピンを点検します。もしピンが曲がっている場合は、注意して直します。
- ビデオをアップグレードした場合、そのインストールが適切か調べます。
- POSTの間ディスプレイが正常でも、Windowsを起動すると画面が消える場合は、選択したビデオ・モードに対する十分なメモリがあるか調べます。VGAモードでオペレーティング・システムを起動します(システムによって有効)。
- ディスプレイのリフレッシュ・レートが高過ぎると、画面が消えることがあります。リフレッシュ・レートの設定が適切か調べます。

その他のディスプレイ
の問題

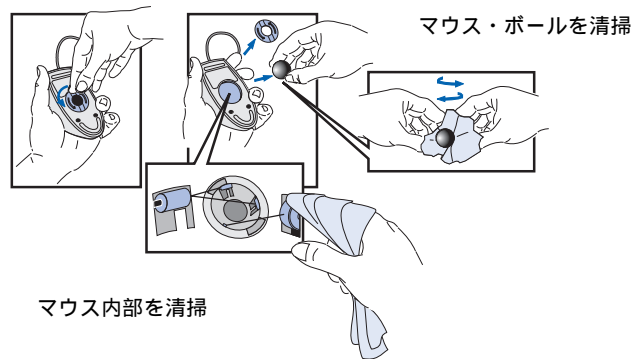
画像の位置が画面と合っていないとき、ディスプレイを調節して矯正します(ディスプレイのマニュアルを参照してください)。アプリケーションの生成する画像がおかしいときは、アプリケーションのマニュアルを調べて必要な画像規格を確認します。またディスプレイのマニュアルを参照して、適切なリフレッシュ・レートを調べます。オペレーティング・システムに示された手順にしたがって、正しいリフレッシュ・レートを設定します。

キーボードが動作しない

- キーボードを正しく接続しているか調べます(キーボードが接続されていないときは、キーボードのアイコンが画面に表示されます)。
- キーボードのソフト・キーが動作しない場合は、Drivers and Utility CD-ROM(¥**keyboard** ディレクトリ内)に収録されているキーボード・ドライバをインストールしてください。
- Mute キーまたは Volume キーが動作しない場合は、Drivers and Utility CD-ROM(¥**audio** ディレクトリ内)に収録されているサウンド・ドライバをインストールしてください。
- ロック・キーが動作しない場合は、HP Lockユーティリティが正しくインストールされ、設定されているか確認してください(本ユーティリティは、本PCワークステーションの¥**hplock** ディレクトリ内にあります)。
- TopTools キーが動作しない場合は、HP TopTools が正しくインストールされているか確認してください(本ユーティリティは、本PCワークステーションの¥**TopTools** ディレクトリ内にあります)。

マウスが動作しない

- マウスを正しく接続しているか確認します。
- プリインストールされたソフトウェアに付属のマウス・ドライバが、正しくインストールされているか確認します。
- 次の図で示すようにして、マウスのボールとローラーの汚れを取ります(不織布などを使用します)。



フロッピーディスク・ドライブが動作しない

- フォーマットされたフロッピーディスクを、正しく挿入しているか確認します。
- 適正な密度のフロッピーディスクか確認します。
- Setup プログラムでフロッピーディスク・ドライブの設定が正しいか確認します(Advanced Flexible Disk Drive)。
- Setup プログラムでフロッピーディスク・ドライブが無効に設定されていないか確認します(Advanced Flexible Disk Drive)。
- Setup プログラムで、[Flexible Disks] 設定項目と [Write on Flexible Disks] 設定項目が [Locked] に設定されていないか確認します (Security Hardware Protection)。
- クリーニング・キットでフロッピーディスク・ドライブを清掃します。
- ディスク・ドライブの電源ケーブルとデータ・ケーブルが正しく接続されているか確認します。

ハードディスク・ドライブが動作しない

- ディスク・ドライブの電源ケーブルとデータ・ケーブルが正しく接続されているか確認します(10ページの「デバイスの接続」を参照)。
- IDE ドライブの場合、Setup プログラムで [IDE Devices] 設定を確認します (**Advanced IDE Devices**)。
- IDE ドライブの場合、Setup プログラムで [Hardware Protection] 設定を確認します (**Security Hardware Protection**)。
- IDE ドライブの場合、Setup プログラムで [Boot Device Security] 設定を確認します (**Security Boot Devices Security**)。
- SCSI ドライブの場合、Setup プログラムで [SCSI Interface] 設定を確認します (**Advanced External/Internal 16/8 bit SCSI (Symbios)** および SCSI Configuration Utility)。

ハードディスク動作
ライトが点灯しない

ハードディスクにアクセスしていても、ハードディスク動作ライトが点灯しないときは...

- コントロール・パネル・コネクタが、システム・ボードにしっかりと接続されているか確認します。
- ハードディスクの電源とデータ・ケーブルが、しっかりと接続されているか確認します。

CD-ROMドライブに問題があるとき

CD-ROMドライブが動作しない

- ケーブルが正しく接続されているか確認します。
- CD-ROMがドライブの中に挿入されているか確認します。
- Setup プログラムで [IDE Devices] 設定を確認します (**Advanced IDE Devices**)
- Setup プログラムで [Hardware Protection] 設定を確認します (**Security Hardware Protection**)。
- Setup プログラムで [Boot Device Security] 設定を確認します (**Security Boot Devices Security**)。
- Setup プログラムで [Integrated Bus IDE Adapters] 設定項目が Both に設定されているか確認します (**Advanced IDE Devices**)

CD-ROMで音を再生できない

CDを再生しようとして問題があるときは ...

- CD-ROM や CD-RW ドライブのフロントパネルに音量調節つまみがある場合、最小にしぼられていないか確認します。
- CD-ROMドライブ中のディスクがフォトCDやデータCDでなく、オーディオ・ディスクであるか確認します。
- ヘッドフォンや外部スピーカを使用しているときは、それらがCD-ROM用のオーディオ・ジャックではなくオーディオ・フロント・パネルに正しく接続されているか確認します。
- CDオーディオのスイッチがmixerにセットされているか確認します(正しく選択されている場合は、タスクバーにスピーカの形のアイコンが表示されます)。
- CD オーディオ・ケーブルが正しくインストールされ、システム・ボードに接続されているか確認します。

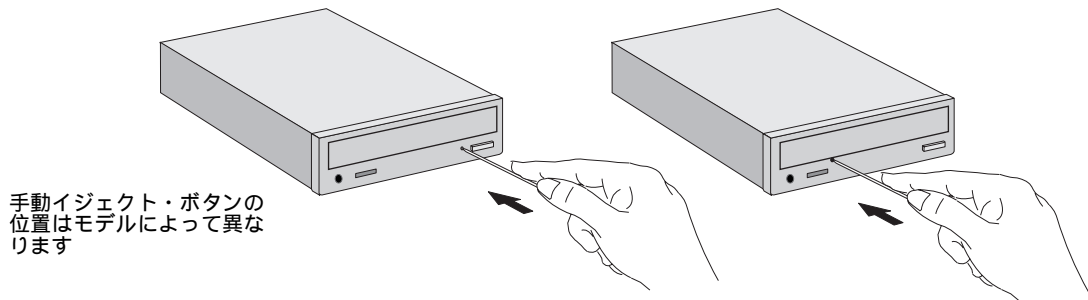
CD-ROMドライブがアイドル

CD-ROMドライブが動作していないと思われるときは、CD-ROMドライブ・アイコンやオペレーティング・システムによってCD-ROMドライブに割り当てられたドライブ名をクリックし、ディスクへのアクセスを試みます。

CD-ROMドライブのドアが開かない

停電などでCD-ROMドライブからCD-ROMディスクを取り出せない場合は、手動イジェクト・ボタンを使用すると、ディスクを取り出すことができます。手動イジェクト・ボタンは次のように使用します。

- 1 CD-ROMドライブ前面に手動イジェクト・ボタンが見つからない場合は、CD-ROMドライブのフロント・ベゼルを取り外します。手動イジェクト・ボタンは、CD-ROMドライブ前面の小さな穴の中にあります。
- 2 クリップの先端など、先の細い棒で手動イジェクト・ボタンを押します。



- 3 CD-ROMドライブのドアがゆるんで、やや開いた状態になります。ゆっくりとドアを開けて、中のディスクを取り出します。
- 4 CD-ROMドライブのドアをゆっくり押して閉めます。停電などで機能が完全に回復していないときは、CD-ROMドライブのドアが完全には閉じない場合があります。このようなときは電源が入れば完全に閉まります。
- 5 必要に応じて、CD-ROMドライブのフロント・ベゼルを取り付けます。

アクセサリ・ボードが動作しない

次の項目について点検します。

- ボードがアクセサリ・ボード・スロットにしっかりと装着されているか確認します。
- アクセサリ・ボードが正しく設定されているか確認します。
- アクセサリ・ボードが、すでに PC ワークステーションによって使用されているメモリ、I/O アドレス、IRQ、DMA を使用していないか確認します。詳細は、82 ページの「本 PC ワークステーションが使用する IRQ、DMA、I/O アドレス」を参照してください。

ソフトウェアに問題があるとき

ハードウェア・パスワードを忘れたとき

注記

オペレーティング・システムのパスワードを忘れてしまった場合は、オペレーティング・システムのマニュアルを参照して正しい復帰方法を調べてください

- ハードウェア・ユーザ・パスワードを忘れてもハードウェア管理者パスワードは分かっているときは、次の手順を行ないます。
 - 1 PCワークステーションの電源を切ります。
 - 2 PCワークステーションを再起動します。
 - 3 **F2 Setup**が表示されるのを待ちます。
 - 4 **F2**キーを押してSetupプログラムを実行します。
 - 5 管理者パスワードを入力し、Setupプログラムに入ります。
 - 6 **Security**メニューの**User Password**サブメニューで、新しいユーザ・パスワードを入力します。
 - 7 **F3**キーを押して新しいパスワードを保存し、Setupプログラムを終了します。
- ハードウェア・ユーザ・パスワードとハードウェア管理者パスワードの両方を忘れたとき、次の手順を行ないます。
 - 1 PCワークステーションの電源を切り、PC本体のカバーを取り外します（3ページを参照）。
 - 2 システム・ボード・スイッチの7 (PSWRD) をON(DOWN)の位置にします。スイッチの位置については85ページを参照してください。
 - 3 PCワークステーションのカバーを取り付け、電源を入れて起動ルーチンを実行させます。
 - 4 PCワークステーションの電源を切り、カバーを取り外します。
 - 5 スイッチ7(PSWRD)をOFF(UP)の位置に設定します。
 - 6 本体のカバーを取り付けます（4ページを参照）。
 - 7 PCワークステーションの電源を入れ、起動プロセスを実行させます。
 - 8 **F2**キーを押してSetupプログラムを実行します。

- 9 新しい管理者パスワードとユーザ・パスワードを設定します。
- 10 F3キーを押して新しいパスワードを保存し、Setup プログラムを終了します。

Setup プログラムを起動できないとき

この状態が発生するのは、メモリに記憶されている PC ワークステーション設定情報が破損した場合です。破損した設定は消去する必要があります。消去する方法については、61 ページの「設定メモリのクリア」を参照してください。

日付や時刻が正しくないとき

日付や時刻は、次のような理由で不正確になる場合があります。

- サマータイムの採用によって時間をずらしたり、戻したりした
- PC ワークステーションの電源を長期間入れなかったためバッテリーが放電した

内部バッテリーは PC ワークステーションを電源コンセントに接続しておけばすぐに充電されます。

日付と時刻の変更は、オペレーティング・システムのユーティリティ、または Setup プログラムで行います。

ネットワークに問題があるとき

ネットワークに問題があるときは、HPIEDIAG ユーティリティを実行します。HPIEDIAG は、本 PC ワークステーションに付属の LAN ドライバが入った HP CD-ROM に収録されています。このユーティリティは LAN ドライバがロードされていなくても、DOS システムからシステム・フロッピーディスクを使用して起動することができます (Windows NT 4.0 を実行している時は他の PC でこのシステム・フロッピーディスクを作る必要があります)。

- 1 フロッピーディスク・ドライブにシステム・フロッピーディスクを入れて、PC ワークステーションを再起動します。
- 2 HPIEDIAG ユーティリティの入った CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れます。

3 HP Kayak PC ワークステーションのトラブルシューティング ソフトウェアに問題があるとき

- 3 ドライブDがCD-ROMドライブの場合、**D:** と入力して**Enter**キーを押し、ドライブDをカレント・ドライブにします。
- 4 **CD ¥ LAN ¥ DIAG**と入力して**Enter**キーを押し、DIAGディレクトリに移動します。
- 5 **HPIEDIAG**と入力して、HPIEDIAG ユーティリティを実行します。画面に表示される指示に従います。

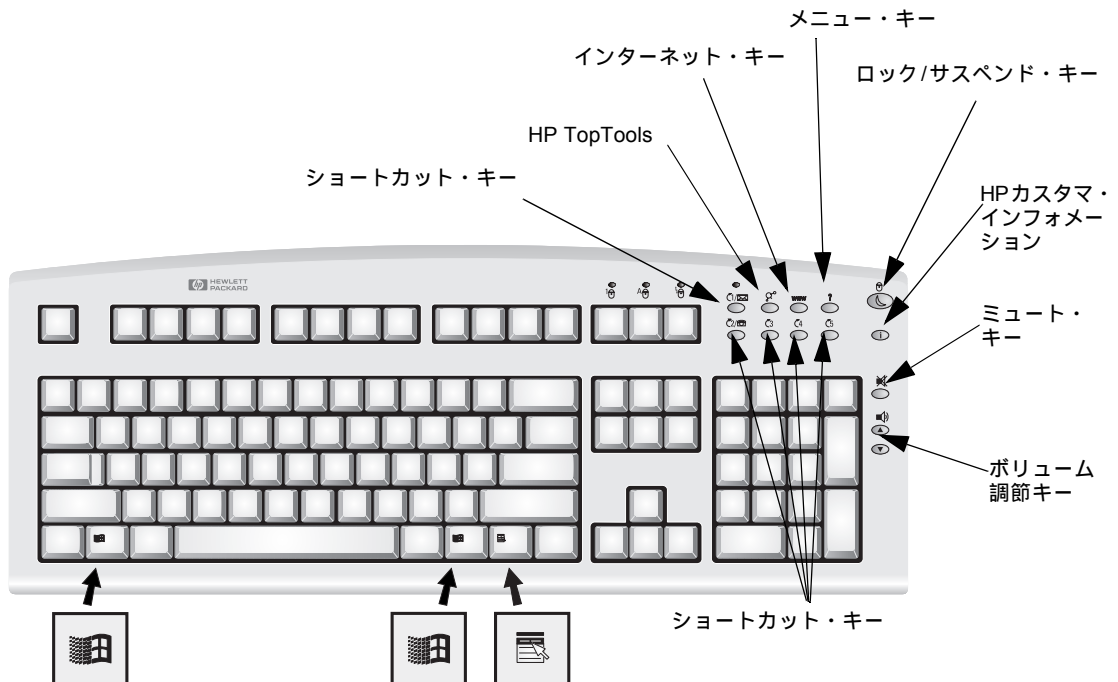
続いて、Setup プログラムで内蔵の Ethernet インタフェースの設定を調べます。『Network Administrator's Guide』も合わせてご覧ください。本ガイドは、次のHPウェブ・サイトからダウンロードできます。

<http://www.hp.com/go/kayaksupport>

HP 拡張キーボードの使用

HP 拡張キーボードに付属のソフト・キーを使用すると、以下の操作が可能になります。

- キーに割り当てたアクションを表示および設定する
- アプリケーションの起動、ファイルのオープン、またはWWW上のサイトのオープンなどを行うためのワンタッチ・ショートカットを実行する
- システム付属のインターネット・ブラウザを起動する
- PCワークステーションをロックまたはサスペンドにする
- HP TopTools とカスタマ情報へアクセスする
- オーディオ・システムのボリュームをミュートまたは調節する



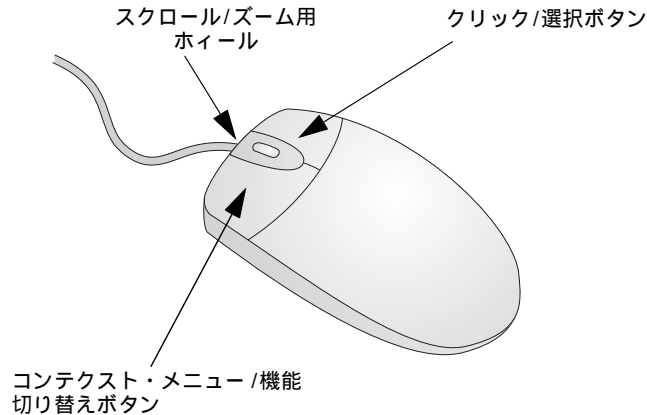
Menu Key	メニュー・ソフトキーを押すと、HP 拡張キーボードのソフトキー部分が画面に表示されます。画面上の任意のキーをクリックして、個々のキーに割り当てられているアクションを表示し、キーにアクションを割り当てたり、または変更したりできます。ユーザが定義したアクションには、固有のショートカット・キーが使えます。
ショートカット・キー	ショートカット・ソフトキーは、アプリケーションを開始、ドキュメントをオープン、またはインターネット上のサイトをオープンするのに使用します。ショートカット・キーにアクションを割り当てるには、メニュー・キーを押し、画面に表示されるキーボードで、設定したいキーをクリックします。
インターネット・キー	このソフトキーは、PC ワークステーションに設定されている Netscape™ Communicator 4.0 ブラウザ (デフォルトの設定) を起動するのに使用します。Microsoft® Internet Explorer も使用可能です。
ロック/サスペンド・キー	<p>ロック/サスペンドのアクションを設定するには、メニュー・キーを押し、[設定]、[拡張キー] タブをクリックして、画面上の[ロック]ボタンをクリックします。HP Lock がインストールされている場合、ロック/サスペンド・キーで指定可能なアクションは以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • スクリーンセーバーの起動 • フロント・パネルのロック
HP TopTools	このソフトキーを押すと HP TopTools が立ち上がります。このアプリケーションは、PC の管理および全般的な所有経費の削減に役立ちます。また、例えばリモートでの BIOS アップデートやセキュリティ管理などに使用する、高度な PC 管理ツール群を提供します。
注記	<p>はじめて HP TopTools を使用する場合は、次のようにインストールを行ってください。</p> <p>[スタート]メニューから[プログラム]を選択し、次に、[HP DMI]、[Setup] を選択します。これで HP TopTools アプリケーションが自動的にインストールされます。</p>
HP カスタマ・インフォメーション	<p>このソフトキーを使って、以下の HP カスタマ情報にアクセスします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 製品の機能情報 • WWW ブラウザの詳しい設定情報 • HP サポート情報の詳細 • HP PC および PC ワークステーション Web サイトへのリンク

ミュートおよび
ボリューム・キー

ミュート・キーを押すとオーディオがミュートし、その状態でもう一度ミュート・キーを押すと元の音量に戻ります。ボリューム・キーはボリューム・レベルを調節するのに使用します。

お使いのシステムのオーディオを調節する詳しい方法については、PC ワークステーションにプリインストールされている『Using Sound』ガイドを参照してください。

HP 拡張マウスの使用



HP 拡張マウスの機能は以下のとおりです。

- マウスホイールを手前にまわすと、下にスクロールします。マウスホイールを反対側にまわすと、上にスクロールします。
- Ctrl キーを押しながらマウスホイールを手前にまわすとズームイン（拡大）し、Ctrl キーを押しながらマウスホイールを反対側にまわすとズームアウト（縮小）します。

注記

スクロール機能が使えるのは、スクロールをサポートしている Windows NT および Windows 95 アプリケーションだけです。ズーム機能が使えるのは、ズームをサポートしている Microsoft Office 97 互換アプリケーションだけです。

マウスの設定を変更するには、[スタート] ボタンをクリックし、[設定] の [コントロールパネル] を選択します。続いて、[マウス] をダブルクリックし、[ボタン] タブを選択します。

技術情報

本章では、PC ワークステーションの技術情報を提供するとともに、HP Setup プログラムについても解説します。

仕様

仕様	説明
プロセッサ (標準)	Pentium II
キャッシュ・メモリ (プロセッサのパッケージに内蔵)	<ul style="list-style-type: none"> 1次キャッシュ: 16 KB コード、16 KB データ 2次キャッシュ: 512 KB
メイン・メモリ (サイズ/速度)	最大 768MB まで増設可能 (SDRAM)
ビデオ	<p>次のいずれかのビデオ・カードを AGP スロットに搭載</p> <ul style="list-style-type: none"> Matrox Millennium G200 インテグレートッド・グラフィックス・アクセラレータ 8 MB の SGRAM フレーム・バッファ Elsa Gloria Synergy 8 MB の SGRAM Frame バッファ
LAN (SCSI モデルのみ)	Ethernet 10BT/100TX LAN コントローラを LAN/SCSI PCI ボード上に搭載。WOL(Wake On Lan) 機能装備
オーディオ	<ul style="list-style-type: none"> Sound Blaster Pro 互換 16 ビット全二重ステレオ・オーディオ・ソリューション内蔵 MPC-3 互換、Direct Sound V 認定 スピーカ内蔵 Midi/ジョイスティック・インタフェース、ヘッドフォン、LINE 入力/出力
ディスク・ドライブ・コントローラ	<ul style="list-style-type: none"> Dual Ultra ATA-33 IDE コントローラ UltraWide 16 ビット SCSI コントローラを LAN/SCSI 共用 PCI ボードに搭載 (一部のモデルのみ)
背面コネクタ	<ul style="list-style-type: none"> ミニ DIN マウス ミニ DIN キーボード 25 ピン・パラレル 9 ピン・シリアル (2 個、バッファ付き) USB コネクタ x 2
25 ピン・パラレル・コネクタ	<ul style="list-style-type: none"> モード: Centronics または双方向モード (ECP/EPP) パラレル・ポート: 1 (378h, IRQ 7)、2 (278h, IRQ 5)、またはオフ
9 ピン・シリアル・コネクタ	<ul style="list-style-type: none"> 標準: UART 16550 バッファ付きシリアル・ポート x 2 (ともに RS-232-C) シリアル・ポート A と B: 2F8h (IRQ 3)、2E8h (IRQ 3)、3F8h (IRQ 4)、3E8h (IRQ 4)、またはオフ (1 つのポートが 2xxh を使用する場合は、別のポートは 3xxh を使用)

仕様	説明
ディスク・ドライブ・シェルフ	<p>デスクトップ・モデル:</p> <ul style="list-style-type: none"> 大容量記憶装置用シェルフ × 5 <ul style="list-style-type: none"> フロント・アクセス、1/3 ハイト、3.5 インチ・ドライブ × 1 フロント・アクセス、ハーフハイト、5.25 インチ・ドライブ × 2 3.5 インチ内部ハードディスク・ドライブ × 2 (フルハイト × 1、ハーフハイト × 1) <p>ミニタワー・モデル:</p> <ul style="list-style-type: none"> 大容量記憶装置 × 7 <ul style="list-style-type: none"> フロント・アクセス、1/3 ハイト、3.5 インチ・ドライブ × 2 フロント・アクセス、ハーフハイト、5.25 インチ・ドライブ × 3 3.5 インチ内部ハードディスク・ドライブ × 2
システム・ボード・コネクタ	<ul style="list-style-type: none"> フロッピーディスク・ドライブ・コネクタ × 1 ATA/33 IDE コネクタ × 2 (最大4台のIDEデバイスを接続可能) オーディオ・コネクタ (デスクトップ・モデルのみ) 次のいずれかのコネクタ: <ul style="list-style-type: none"> フロントパネル・コネクタ × 1 LCD およびステータス・パネル用 (デスクトップ)、または フロントパネル・コネクタ × 2 (ミニタワー) HP 外部起動コネクタ WOL (Wake On LAN) 外部起動コネクタ 外部バッテリー・コネクタ ファン・コネクタ × 3 電源コネクタ
アクセサリ・スロット	<ul style="list-style-type: none"> AGP (Accelerated Graphics Port) スロット × 1 32ビットPCIスロット × 3 16ビットISAスロット × 1 ISA/PCI共用スロット × 1

4 技術情報
仕様

仕様	説明
キーボード / マウス	<ul style="list-style-type: none">• HP 拡張キーボード、ミニDINコネクタ付き• HP 拡張スクロール・マウス、ミニDINコネクタ付き
HP UltraFlow クーリング・システム	最適クーリングのための温度制御ファンを複数装備
ヘッドフォン	マイク付きステレオ・ヘッドフォン
SCSI (一部のモデルのみ)	UltraWide 16 ビット SCSI コントローラを LAN/SCSI 共用 PCI ボード上に搭載

システムの仕様

消費電力情報

最大消費電力	200 W
動作中	80 W (平均値)
アイドル	45 W (平均値)
オフ	2.5 W ¹ (平均値)

1. 本 PC ワークステーションの電源装置は、PC 本体の電源を切った状態でも CMOS メモリに電源を供給し続けます。

注記

フロント・パネルの電源ボタンで PC ワークステーションの電源を切ると、電力消費は 5W 以下に低下しますがゼロにはなりません。PC ワークステーションで使用されるこの特殊なオン / オフ方式は、電源装置の寿命を大幅に延ばすことができます。「オフ」モードで電力消費をゼロにするには、PC ワークステーションの電源コードをコンセントから外すか、スイッチ付きの電源ブロックを使用します。この場合、数日で時刻の設定が失われるのでご注意ください。

アクセサリ・スロットに対する最大負荷

ISA と PCI アクセサリ・スロットに対する負荷制限は、ISA と PCI 規格に適合しています。例えば、本 PC ワークステーションは、PCI スロット 1 基あたり最大 15W、4 基の PCI スロットに対して合計 60W までサポートするよう設計されています。

本PCワークステーションが使用するIRQ、DMA、I/Oアドレス

ここに示すIRQ、DMA、およびI/Oのアドレス・マッピングは、基本的な構成を持つPCワークステーションに対するものです。使用するリソースは、PCワークステーションに搭載されているアクセサリ・ボードによって異なります。リソースは、システムBIOSまたはPlug and Play対応のオペレーティング・システムによって割り当てられます。

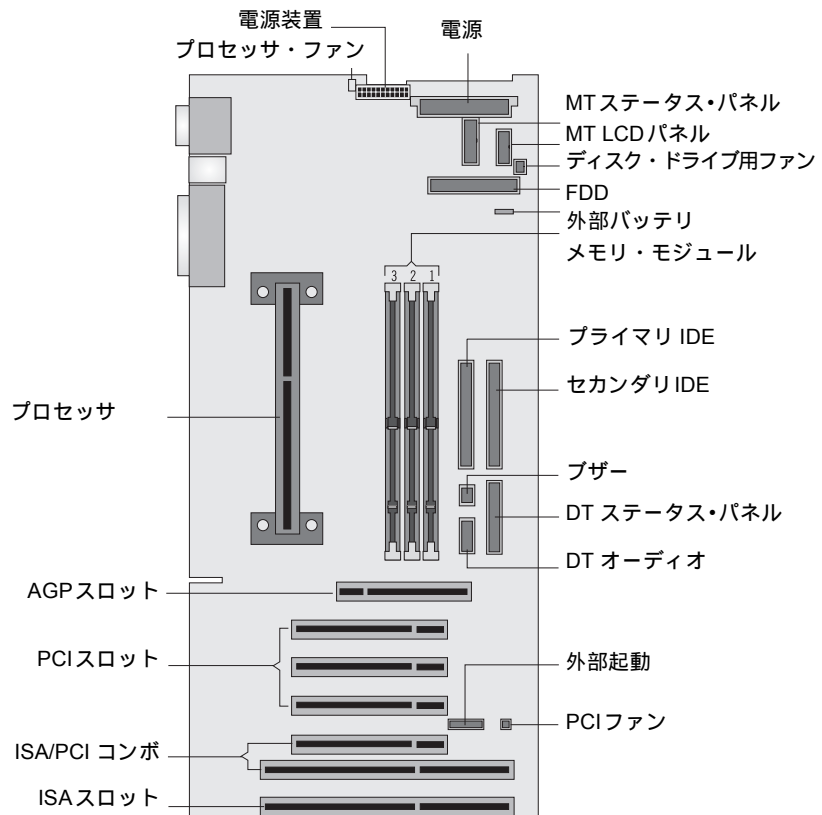
本 PC ワークステーションが使用する IRQ	IRQ 0	システム・タイマ
	IRQ 1	キーボード・コントローラ
	IRQ 2	空き
	IRQ 3	COM2、COM4
	IRQ 4	COM1、COM3
	IRQ 5	LPT2
	IRQ 6	フロッピーディスク・ドライブ・コントローラ
	IRQ 7	LPT1
	IRQ 8	リアルタイム・クロック
	IRQ 9	
	IRQ 10	
	IRQ 11	
	IRQ 12	マウス
	IRQ 13	接続なし
	IRQ 14	内蔵IDEコントローラ
	IRQ 15	内蔵IDEコントローラ

本 PC ワークステーションが使用する DMA	DMA 0	キャプチャ
	DMA 1	プレイバック
	DMA 2	フロッピーディスク・ドライブ・コントローラ
	DMA 3	LPT ECP
	DMA 4	カスケード
	DMA 5	空き
	DMA 6	空き
	DMA 7	空き

本 PC ワークステーションが使用する I/O アドレス	0000 - 000F	DMA コントローラ1
	0020 - 0021	マスタ割り込みコントローラ
	002E - 002F	構成レジスタ
	0040 - 0043	タイマ1
	0060, 0064	キーボード・コントローラ
	0061	ポートB (スピーカ、NMIステータスおよび制御)
	0070	ビット7: NMIマスク・レジスタ
	0070 - 0071	RTCおよびCMOS
	0080	製造用ポート (POSTカード)
	0081 - 0083, 008F	DMA low page レジスタ
	0092	PS/2リセットおよびFast A20
	00A0 - 00A1	スレーブ割り込みコントローラ
	00C0 - 00DF	DMAコントローラ2
	00F0 - 00FF	コプロセッサ・エラー
	0170 - 0177	IDEセカンダリ・チャンネル
	01F0 - 01F7	IDEプライマリ・チャンネル
	0278 - 027F	LPT2
	02E8 - 02EF	シリアル・ポート4 (COM4)
	02F8 - 02FF	シリアル・ポート2 (COM2)
	0372 - 0377	空き (2台目のフロッピーディスク・ドライブ)
	0378 - 037A	LPT1
	03B0 - 03DF	VGA
	03E8 - 03EF	COM3
	03F0 - 03F5	フロッピーディスク・ドライブ・コントローラ
	03F6	IDEプライマリ・チャンネル
	03F7	フロッピーディスク・ドライブ・コントローラ
	03F8 - 03FF	COM1
	04D0 - 04D1	割り込みエッジ/レベル制御
	0678 - 067B	LPT2 ECP
	0778 - 077B	LPT1 ECP
	0CF8 - 0CFF	PCI構成領域
	8000	PIIX4 パワー・マネジメント用 I/O 領域
	8400	NS317 ACPI レジスタ
	8800	PIIX4 SMBus I/O 領域

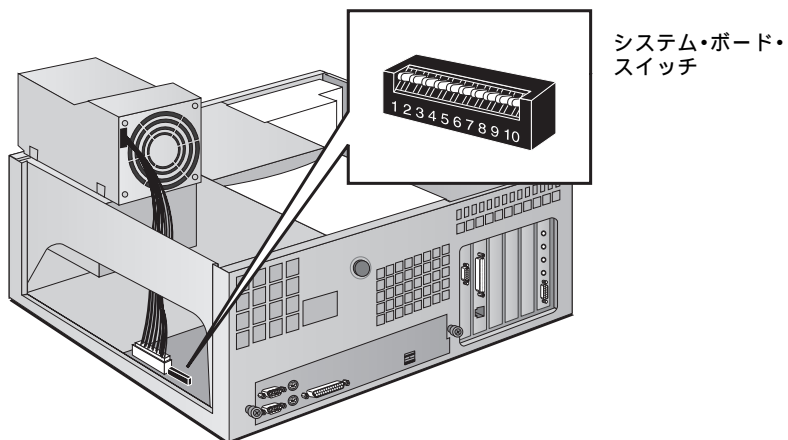
システム・コネクタとスイッチ

システム・ボード・コネクタ

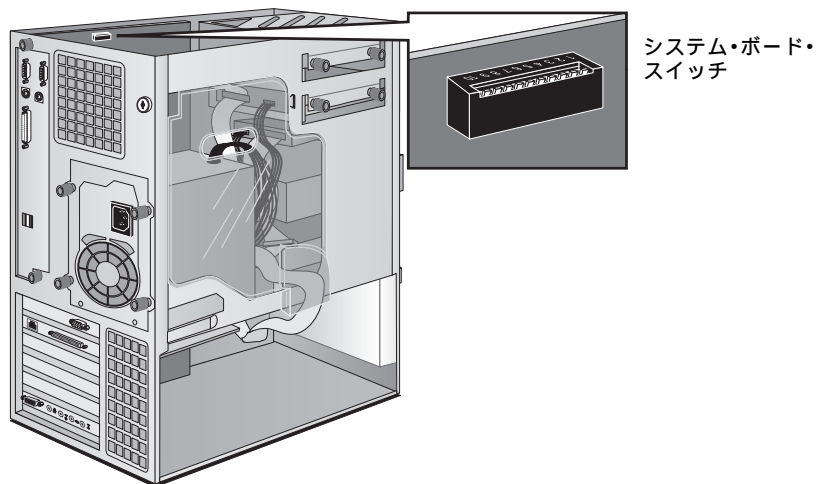


システム・ボード・スイッチ

次の図は、HP Kayak XA ワークステーション デスクトップ・モデルのシステム・ボード・スイッチの位置です。



次の図は、HP Kayak XAワークステーション ミニタワー・モデルのシステム・ボード・スイッチの位置です。



4 技術情報

システム・コネクタとスイッチ

スイッチ1は、予約済みであり、使用することはできません。スイッチのデフォルトの位置はUPです。

スイッチ2から5は、次の表に示すとおり、プロセッサの設定に使用されます。本PCワークステーションに標準で搭載されているプロセッサをアップグレードする場合は、設定を変更する必要があります。

スイッチ2	スイッチ3	スイッチ4	スイッチ5	バス速度	プロセッサ速度
UP ¹	UP	DOWN	DOWN	100 MHz	350 MHz
UP	DOWN	UP	UP	100 MHz	400 MHz
UP	DOWN	UP	DOWN	100 MHz	450 MHz
UP	DOWN	DOWN	UP	100 MHz	500 MHz

1. スイッチはUPがOFFで、DOWNがONです。

スイッチ6から10は、次の表に示すように使用されます。

スイッチ ¹	機能
1 - 予約	使用禁止
6 - CLEAR CMOS	CMOSメモリを保持またはクリアする。 <ul style="list-style-type: none">UP : CMOSメモリを保持する(デフォルト)。DOWN : CMOSメモリをクリアする。
7 - PSWRD	EEPROMに格納されたユーザ・パスワードおよびシステム管理者パスワードを有効またはクリア(無効に)する。 <ul style="list-style-type: none">UP : パスワードを有効にする(デフォルト)。DOWN : パスワードをクリアする。
8 - KEYB パワー・オン	キーボードによるパワー・オンを有効または無効にする。 <ul style="list-style-type: none">UP : キーボード・パワー・オンを無効にする。DOWN : キーボード・パワー・オンを有効にする(デフォルト)。

スイッチ ¹	機能
9 - BOX DEFINITION	ボックス・タイプを選択する。 <ul style="list-style-type: none">• UP : ミニタワー・モデルを選択する。• DOWN : デスクトップ・モデルを選択する(デフォルト)。
10 - BIOS Recovery Mode	<ul style="list-style-type: none">• UP : ノーマル・モードを有効にする(デフォルト)。• DOWN : リカバリ・モードを有効にする。

1. スイッチはUPがOFFで、DOWNがONです。

HP サマリ画面と Setup プログラム

このセクションでは、HP サマリ画面と HP Setup プログラムについて紹介します。サマリ画面や Setup プログラムを使って、PC ワークステーションを設定し、設定に問題があればそれを解決することができます。

HP サマリ画面の表示

PC ワークステーションを初めて使用する場合や、アクセサリのインストール、取り外し、アップグレードなどを行った後は、そのたびに PC ワークステーションの設定をチェックします。設定は、次の方法でチェックします。

- 1 まずディスプレイの電源を入れ、次に PC ワークステーションの電源を入れます。PC ワークステーションの電源がすでに入っている場合は、データと既存のプログラムをすべて保存して、PC ワークステーションを再起動します。電源を切って、PC ワークステーションを再起動する際、特別に注意することはないか、ご使用のオペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。
- 2 スタートアップ・ロゴがディスプレイに表示されている間に、**Esc** キーを押すと、HP サマリ画面が表示されます (サマリ画面をスキップして直接 Setup プログラムに進む場合は、**Esc** キーではなく **F2** キーを押してください)。サマリ画面は数秒間しか表示されません。**F5** キーを押すと、サマリ画面をそのまま表示させておくことができます。

HP Setup プログラムの起動

- 1 まずディスプレイの電源を入れ、その後で PC ワークステーションの電源を入れます。PC ワークステーションの電源がすでに入っている場合は、データと既存のプログラムをすべて保存して、PC ワークステーションを再起動します。電源を切って、PC ワークステーションを再起動する時に何か特別に注意することがないか、使用しているオペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。
- 2 画面の下に **F2 Setup** が表示されている間に、**F2** キーを押します。**F2** キーを押し遅れ、起動プロセスが進行していったら、PC ワークステーションを再起動し、もう一度 POST (パワー・オン・セルフ・テスト) を実行している時に、**F2** キーを押す必要があります。
- 3 PC ワークステーションの Setup プログラムの初期画面が表示されます。メイン・メニューの選択肢がハイライト表示されている点に注意してください。

ネットワーク接続の設定

本PCワークステーションにHP提供のネットワーク・ソリューションが内蔵されている場合は、本項をお読みください。

内蔵のEthernet インタフェースの設定を変更するには、PCワークステーションのSetup プログラムを使用します（88ページを参照）。Setup プログラムで設定できる主なネットワーク関連のオプションを次の表に示します。

ネットワークの設定項目 ¹	Setup プログラムでの設定
内蔵ネットワーク・インタフェース ² を有効にする	Advanced メニューの Integrated Network Interface サブメニュー
ネットワーク経由での PC ワークステーションの起動（ブートとログオン）を有効にする	Security メニューの Boot Devices Security サブメニュー（次項に詳述）
PC ワークステーションのリモート・パワーオンを有効にする	Power メニューの [Integrated Network] 設定項目を有効にする。
内蔵のネットワーク・インタフェースがコマンドを受信したときに、サスペンド・ウェークアップ・モードからフルパワーに復帰することを有効にする	Power メニューの [Integrated Network] 設定項目を有効にする。
ブート・デバイスのプライオリティを決定する	Boot メニューの [Boot Device Priority] リスト項目を選択する（次ページに詳述）。

1. ネットワークの設定についての詳細は、本PCワークステーションに付属の『Network Administrator's Guide』（英文）を参照してください。
2. LANカードを無効にしても、リモート・パワーオンやリモート・ウェークアップなど、LANカードの一部の機能が無効になるだけで、LANカード自体が無効になるわけではありません。

ネットワーク・セキュリティ機能の制御

ネットワークのセキュリティ機能を使用すると、ネットワーク経由でLANサーバからPCワークステーションを起動できます。

ネットワーク経由の起動を有効にする

- 1 Setup プログラムを起動したら (88 ページを参照)、右矢印キーまたは左矢印キーを使用して **Security** メニューを選択します。
- 2 下矢印キーを押して **Boot Device Security** を強調表示し、**Enter** キーを押してサブメニューを表示します。
- 3 **Start from Network** を強調表示し、**F7** キーまたは **F8** キーを押して、オプションを **Enabled** に変更します。
- 4 その他の起動オプションを、次の手順で無効にすれば、ネットワークやサーバに問題が発生した場合にコンピュータの起動を防止できます。
 - a 下矢印キーを押して **Start From Floppy** を強調表示し、**F7** キーまたは **F8** キーを押してオプションを **Disabled** に変更します。
 - b 下矢印キーを押して **Start From IDE CD-ROM** を強調表示し、**F7** キーまたは **F8** キーを押してオプションを **Disabled** に変更します。
 - c 下矢印キーを押して **Start From IDE HDD** を強調表示し、**F7** キーまたは **F8** キーを押してオプションを **Disabled** に変更します。
- 5 変更を保存して、Setup プログラムを終了します。

ブート・デバイス・プライオリティの選択

PCワークステーションが、ネットワーク上のブート・デバイスも含めて、どの順番でブート・デバイスを検索するか決めることができます。次のステップを実行します。

- 1 Setup プログラムを起動し、右矢印キーまたは左矢印キーを使って **Boot** メニューを選択します。
- 2 下矢印キーを押して、**Boot Device Priority** を強調表示し、**Enter** キーを押してサブメニューを選択します。
- 3 上矢印キーおよび下矢印キーを使ってブート・デバイスを選択し、次に **+** キーまたは **-** キーを押してデバイスをリスト内で上下に動かします。

ブート・デバイスの検索順序は、Setup プログラムを起動せずに変更することもできます。再起動の後、最初に PC ワークステーションが立ち上がった時に、プロンプト・メッセージが表示されます。

数字

16 ビット SCSI, 10, 78

C

CD

コネクタ, システム・ボード上の, 84

CD-ROM

インストールの完了, 20, 47
トラブルシューティング, 67

D

DiagTools, 56

DMA チャンネル

PC ワークステーションが使用する,
82

H

HP DiagTools, 56

インストール, 56

HP MaxiLife

HP Setup プログラム, 88

HP Summary 画面, 88

HP TopTools, 74

HPカスタマ・インフォメーション・キー,
74

I

I/O アドレス

PC ワークステーションが使用する,
82

IDE

ハードディスク, 37

IDE ドライブ

ケーブル, 12, 39, 41, 45

ISA

スロット, システム・ボード上の, 84

L

LCD エラーメッセージ, 59

M

Microsoft Internet Explorer, 74

N

Netscape Communicator 4.0, 74

P

PCI

スロット, システム・ボード上の, 84

PC ワークステーション

仕様, 78
トラブルシューティング, 51

Plug and Play

SCSI, 11, 37

S

SCSI

Plug and Play, 11, 37
ケーブル, 12, 39, 41, 45

Setup, 71

トラブルシューティング, 71

Setup プログラム, 88

あ

アクセサリ

インストール, 1, 25
サポートされる, 2, 26

アクセサリ・ボード

インストール, 21, 48
トラブルシューティング, 69

い

インストール

CD-ROM ドライブの ~ の完了, 20,
47
HP DiagTools, 56
アクセサリ, 1, 25
アクセサリ・ボード, 21, 48
ディスク・ドライブ, 10, 36
テープ・ドライブ, 17, 43
フロッピーディスク・ドライブ, 17,
43
フロッピーディスク・ドライブの ~
完了, 20, 47
メイン・メモリ, 33
インターネット・キー, 74
インターネット・ブラウザ, 74

え

エラーメッセージ

LCD, 59

エラー・メッセージ, 60

か

外部起動

システム・ボード上のコネクタ, 84

拡張キーボード, 73

目的, 73

カバー

取り付け, 4, 29
取り外し, 3, 27

き

キーボード, 73

トラブルシューティング, 64

ブラウザ, 74

技術仕様, 77

起動

ブート・デバイスの変更, 90

け

ケーブル

IDE, 12, 19, 39, 41, 45
SCSI, 12, 39, 45
フロッピーディスク・ドライブ, 45

こ

コネクタ

外部起動, システム・ボード上の, 84
CD, システム・ボード上の, 84
ステータス・パネル, システム・ボ
ード上の, 84
電源, システム・ボード上の, 84
内蔵スピーカ, システム・ボード上
の, 84
ファン, 84
フロッピーディスク・ドライブ, シ
ステム・ボード上の, 84
フロント・パネル mic システム・
ボード上の, 84
マルチメディア・フロント・パネル,
84

さ

サポートされる HP 製アクセサリ, 2, 26
サマリ画面, 88

- hr/>
- し
 - システム, 8, 84
 - システム・ヘルス・ウィンドウ, 74
 - システム・ボード
 - CD コネクタ, 84
 - ISA スロット, 84
 - PCI スロット, 84
 - コネクタ, 84
 - スイッチ, 85
 - 電源コネクタ, 84
 - プロセッサ・ソケット, 84
 - フロント・パネル mic, 84
 - マルチメディア・フロント・パネル, 84
 - システム・ボード上の AGP スロット, 84
 - 仕様, 78
 - PC ワークステーション, 78
 - 技術, 77
 - ビデオ, 78
 - ショートカット・キー, 74
 - す
 - スイッチ
 - システム・ボード上の, 85
 - ステータス・パネル
 - コネクタ, 84
 - スロット
 - AGP, システム・ボード上の, 84
 - ISA, システム・ボード上の, 84
 - PCI, システム・ボード上の, 84
 - そ
 - ソケット
 - プロセッサ, システム・ボード上の, 84
 - ソフトウェア
 - トラブルシューティング, 70
 - ソフト・キー
 - HP カスタマ・インフォメーション, 74
 - インターネット, 74
 - ショートカット, 74
 - ボリューム, 75
 - ミュート, 75
 - メニュー, 74
 - ロック / サスペンド, 74
 - て
 - ディスク・ドライブ
 - インストール, 10, 36
 - テープ・ドライブ
 - インストール, 17, 43
 - 電源
 - コネクタ, システム・ボード上の, 84
 - 電源装置
 - 取付け, 6, 32
 - 取り外し, 5, 31
 - 電力
 - 消費, 81
 - と
 - トラブルシューティング, 51
 - CD-ROM, 67
 - PC ワークステーション, 51
 - Setup, 71
 - アクセサリ・ボード, 69
 - キーボード, 64
 - ソフトウェア, 70
 - ハードディスク, 65
 - フロッピーディスク・ドライブ, 65
 - マウス, 65
 - 取付け
 - 電源装置, 6
 - 取り外し
 - 電源装置, 5, 31, 32
 - ね
 - ネットワークの設定, 89
 - は
 - ハードウェアの問題
 - DiagTools で診断する, 56
 - ハードディスク・ドライブ
 - IDE, 37
 - インストールの完了, 16, 43
 - ケーブル, 12, 39, 41
 - トラブルシューティング, 65
 - パスワード
 - ~を忘れた場合, 70
 - ひ
 - 仕様, 78
 - ビデオ, 78
 - ふ
 - ファン
 - コネクタ, 84
 - ブート・デバイス・プライオリティの変更, 90
 - プロセッサ
 - ソケット, システム・ボード上の, 84
 - フロッピーディスク・ドライブ
 - インストール, 17, 43
 - インストールの完了, 20, 47
 - ケーブル, 45
 - コネクタ, システム・ボード上の, 84
 - トラブルシューティング, 65
 - フロント・パネル mic
 - コネクタ, システム・ボード上の, 84
 - ほ
 - ボリューム・キー, 75
 - ま
 - マウス
 - トラブルシューティング, 65
 - マルチメディア
 - フロント・パネル・コネクタ, 84
 - み
 - ミュート・キー, 75
 - め
 - メニュー・キー, 74
 - メモリ
 - キャッシュ, 78
 - メイン・メモリのインストール, 33
 - ろ
 - ロック / サスペンド・キー, 74
 - わ
 - 割り込み要求チャネル
 - PC ワークステーションが使用する, 82
-

物理的仕様

特徴：	説明：
重量 (キーボードとディスプレイを除く)	デスクトップ・モデル： 15 kg ミニタワー・モデル： 17.1 kg
外形寸法	デスクトップ・モデル： 奥行き 44.5 cm(最大) x 幅 44.8 cm x 高さ 17.3 cm ミニタワー・モデル： 奥行き 41.1 cm(最大) x 幅 21 cm x 高さ 41.1 cm
設置面積	デスクトップ・モデル： 0.2 m² ミニタワー・モデル： 0.09 m²
保管時温度	-40 ~ 70
保管時湿度	8% ~ 80% (相対湿度)
動作時温度	5 ~ 40
動作時湿度	15% ~ 80% (相対湿度)
動作時ノイズ： 音響出力 (アイドル・モード) 音圧 (アイドル・モード)	(ISO 7779 で定義) LwA 47 dB(デスクトップ)、 51 dB(ミニタワー) LpA 40 dB(デスクトップ)、 45 dB (ミニタワー)
電源	<ul style="list-style-type: none"> 電源電圧：100 - 127、200 - 240 Vac (スイッチ選択¹) 電源周波数：50/60Hz 最大電力：200 W (連続)

1. 一部のモデルでは、電圧が自動選択されます。

PCワークステーション・ドキュメンテーション・ロードマップ

次の情報を得るには...

